



**小牧山城築城 450 年記念事業
報告書**



はじめに



平成25年(2013年)は、織田信長公が小牧山に城を築いてから450年を迎えたことから、この機を捉え、小牧山城で新たに発見された事実、また、高く評価される歴史的価値をふまえ、小牧の歴史や魅力を全国に発信し、また、市民の皆様の小牧に対する愛着や誇りの醸成につなげていくべく、小牧山城築城450年記念事業を実施いたしました。

築城450年記念事業のキーワードを「夢・チャレンジ」、キャッチフレーズを「信長の天下統一への夢・チャレンジ始まりの地 小牧」と定め、平成25年1月1日の「初日の出を拝む集い〜夢・チャレンジのスタート〜」をオープニングイベントとして開催し、記念事業の31事業を始め、連携事業、協賛事業など、196事業を実施することができました。

特に、メインイベントとして9月に開催した「こまき信長まつり」は、例年開催している「小牧山お月見まつり」「小牧山薪能」「小牧山ランドマークフェスタ」に、新たに「宵まち楽市楽座」「こまき信長・夢フォーラム」「小牧バル」「小牧山城見市」を加えた7つの事業が連携し、「こまき信長まつり」として、3日間にわたり開催し、参加者は125,000人を数え、市内外から多くの方にお越しいただくことができました。

さらに、12月には、築城450年記念事業のグランドフィナーレとして、小牧市市民会館の巨大な壁面に映し出される織田信長公をテーマとした3D映像と音楽、そして和太鼓・よさこいのライブパフォーマンスが融合するライブ・プロジェクションマッピングショーを開催し、12月下旬の寒空の中、約12,300人の皆様に幻想的なショーを楽しんでいただきました。

1年を通して行った築城450年記念事業の総来場者数は、約55万人を超え成功裏に終えることができました。これもひとえに、多くの市民や小牧商工会議所をはじめとする各種団体、事業者の皆様のご参加をいただきながら展開できた成果であると確信しております。

今後は、この事業で得られた経験と成果を活かし、本市のシティプロモーション活動を積極的に展開していくとともに、市民の皆様には、「小牧に住んで良かった。今後も小牧に住み続けたい。」といただけたらよい、さらには、市外の方々にも「小牧に住んでみたい。」といただけたらよいなまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、築城450年記念事業の実施にあたり、ご参加いただきました皆様、また、ご支援とご協力を賜りました関係者各位に対しまして、改めて心より感謝申し上げます。



平成26年3月

小牧市長 山下 史守朗

目次

序章	… 4
小牧山城築城450年記念事業基本方針	… 5
一. 記念事業	… 8
(1) 記念事業	… 9
(2) メイン事業「こまき信長まつり」	…14
(3) グランドフィナーレ「ライブ・プロジェクションマッピングショー “アゼレア”」	…16
二. 市民・事業者等による事業の連携・支援	…18
(1) 協働提案事業・市民団体チャレンジ事業	…19
(2) 連携事業、協賛事業、PR事業	…20
(3) 観光特産品開発事業	…23
(4) 観光旅行商品開発事業	…23
三. 広報宣伝事業	…24
(1) 情報発信事業	…25
(2) 「こまき築城アイドル」夢・チャレンジプロジェクト	…26
(3) みんなが考える夢の小牧山城プロジェクト	…29
(4) ブロック城下町に住もう！プロジェクト	…32
(5) 観光大使の委嘱	…33
(6) ホームページ、フェイスブック、ツイッターの活用	…34
(7) まんが 織田信長公伝『麒麟の城』～おじさんの夢 小牧山城～の作成	…36
(8) 小牧山城 はっくつかわら版、築城450年コーナーの設置・信長新聞の作成	…37
(9) パンフレット・ポスター等一覧、PRグッズ・その他広報ツール	…38
四. パブリシティ効果額	…42
(1) パブリシティ効果額	…43
(2) テレビ、ラジオ、新聞等での掲載一覧	…44
五. 「夢・チャレンジ」の継承と今後の課題	…52
「夢・チャレンジ」の継承と今後の課題	…53
六. 資料	…56
(1) 来場者アンケート結果	…57
(2) 観光入込客数	…63
(3) 小牧市小牧山城築城450年記念市民団体チャレンジ事業費補助金交付要綱	…64
(4) 小牧市観光特産品開発チャレンジ事業費補助金交付要綱	…65
(5) 小牧市観光旅行商品開発事業費補助金交付要綱	…67
(6) 織田信長公小牧山城築城450年記念事業認定基準	…69



序章

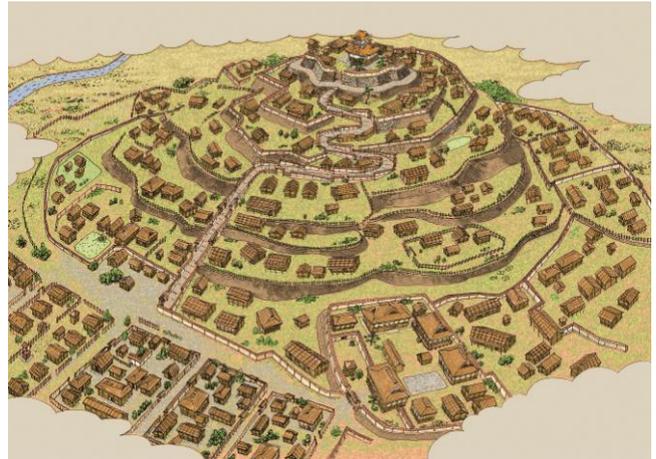
■ 小牧山城築城450年記念事業基本方針

戦国の乱世にあって、常識を打ち破った鮮烈なる天下人織田信長公。前例にとらわれることなく、新しい道を切り開いていった信長公が、天下統一を夢見て、その第一歩として清須城から城を移したのが小牧山である。

信長公が天下統一への夢にむかってスタートを切った場所、すなわち小牧は『夢・チャレンジ始まりの地』といえる。

この史実に加え、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康という日本の歴史上知らない人はいない三英傑が全て関わったという点で史跡小牧山（小牧山城）は、全国でも稀有な史跡である。

平成25年が、織田信長公による小牧山城築城450年となることを契機として、私たち小牧市民がこの先人たちの夢に思いを馳せ、将来への夢を描き、さらに誇りに思える新たなまちづくりに向かってチャレンジすること、そして観光まちづくりの始まりとするべく、記念事業に取り組んでいくこととする。



1、事業のキーワード

『夢・チャレンジ』

2、事業キャッチフレーズ

～信長の天下統一への**夢・チャレンジ**始まりの地 小牧～

3、事業実施期間

平成25年1月1日～12月31日

4、事業の4本柱〈事業概要〉

事業の4本柱に沿って行った事業を紹介します。

I 夢の体感 / 小牧の魅力を手感できる環境づくりを進める。

①史跡整備事業

- ・ 小牧山城の発掘調査
- ・ 小牧市歴史館（小牧城）企画展



②来訪者が楽しめるような観光施設の整備

- ・ 小牧駅前観光案内所での来訪者への観光案内
- ・ 小牧山城発掘現場状況の説明パネルの設置
- ・ 信長の出生から小牧山城築城までのイラストを歩道に敷設した“織田信長公 夢・チャレンジ街道”の整備
- ・ 小牧山城案内看板の設置
- ・ 小牧山城にゆかりのある三英傑（信長・秀吉・家康）の看板設置



③観光の振興に寄与する人材の育成

- ・ 市内外から訪れる人のために小牧のまちを案内する“観光ガイドボランティア”の育成

④まち歩きを楽しむづくり

- ・ 観光特産品の開発・改良・販売促進に向けてチャレンジする事業者に対して、観光特産品開発チャレンジ事業費補助金の整備
- ・ 小牧市の知名度を高めるとともに、小牧を訪れ魅力を知ってもらうため、小牧市に向けた旅行商品の開発・販売支援を行う事業者に対して、小牧市観光旅行商品開発事業費補助金の整備



II 夢の発信 / 小牧の魅力在市内外に情報発信する。

①市民向けPR・意識啓発活動、市外の方に向けた観光PR活動

- ・ 観光大使の委嘱
- ・ こまき築城アイドルの誕生
- ・ 「まんが織田信長公伝『麒麟の城』～おじさんの夢 小牧山城～」の作成
- ・ 小牧山城築城450年PRポスターの作成・配布
- ・ こまき暮らしのカレンダー2013の作成
- ・ PRビデオを作成
- ・ 市HPでのPR（トピックス情報にバナーを掲載）
- ・ 小牧山城築城450年記念HPの作成
- ・ フェイスブック、ツイッターを活用したPR
- ・ 全国のメディアに向けたプレスリリース
- ・ 地域情報誌でのPR、観光スポット紹介、観光コースの造成、ツアー募集・実施
- ・ 図書館における築城450年コーナーの設置・信長新聞の作成



Ⅲ 夢の共有 / 市民・事業者と観光まちづくりに向け協働していく。

①行政提案型市民協働事業の募集

- ・ 小牧バルの実施（実施：小牧にぎわい隊）

②民間企業・関係団体との連携事業

- ・ 市民活動団体が自ら行う記念事業に対するの支援
- ・ 小牧山城築城450年記念のメイン事業“こまき信長まつり”の実施（小牧市、小牧市観光協会、小牧商工会議所、小牧青年会議所、こまき市民活動ネットワーク、小牧市文化協会、小牧歴史ガイドボランティアたぶの木会、尾張小牧歴史文化振興会、小牧にぎわい隊が連携して実施）
- ・ 小牧市観光協会による観光ガイドボランティアの運営（H25 実施件数 18 件、442 人）



Ⅳ 夢の継承 / 伝統の行事・イベントを生かした事業を実施していく。

①伝統文化

- ・ 小牧に古くから受け継がれてきた伝統文化をこれからも伝えていく。
- ・ 春季縁日（間々乳観音）、豊年祭（田縣神社）、小牧神明社の春祭（小牧神明社）、秋葉祭（秋葉社）など



②創っていく文化

小牧の資源を生かした、新しい文化を創造していく。

- ・ 各事業を统一的にイメージ展開し、築城450年記念事業のキーワードである「夢・チャレンジ」やキャッチフレーズの使用をはじめ、信長公を事業のテーマに盛り込むことなどにより、市全体をあげて统一的に小牧山城築城450年を盛り上げていく。



一. 記念事業

（1）記念事業 <31事業>

初日の出を拝む集い

～夢・チャレンジのスタート～

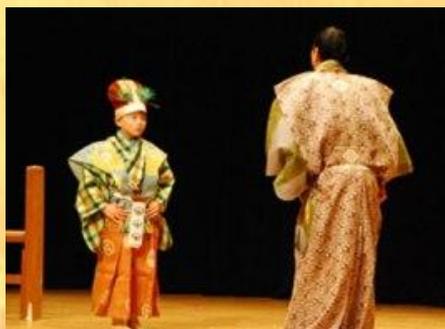
（1月1日、小牧山山頂、来場者数 4,500 人）
小牧山城築城 450 年記念事業のオープニングイベントとして開催。オープニングセレモニーでは「えいえいおー！」と勝どきをあげるとともに初日の出に 450 年記念事業の始まりを祈念した。



初笑い狂言会

（1月12日、東部市民センター
来場者数 303 人）

小牧山城築城 450 年にあたって、日本の伝統芸能である「狂言」の解説を交えて、分かりやすく上演した。また、かつて狂言の前座に行われていた子ども歌舞伎を小牧の子どもたちが行った。



小牧市歴史館企画展

『墨書石垣石材と佐久間氏』

～450年の時を経て～

（1月18日～2月20日、小牧市歴史館
来場者数 3,987 人）

小牧山山頂で発掘された墨書石垣石材の実物展示、信長公の重臣として仕えた佐久間信盛の関連年譜や家系図、佐久間信盛が家臣へ宛てた書状などをパネルで紹介した。



記念講演会「三英傑（信長・秀吉・家康）の甲冑～小牧山の歴史から～」

（1月26日、小牧市市民会館
来場者数 350 人）

徳川美術館参与の佐藤豊三氏を招き、信長公をはじめとする三英傑ゆかりの小牧山の歴史や、甲冑についての講演会を行った。



小牧山城築城450年記念パネル展

～信長を取り巻く武将たち～

（2月6日～21日、小牧市役所ほか、計 12 回）
信長公と小牧山城、愛知県内の城や武将をパネルで紹介し、市内各所で展示を行った。



小牧山さくらまつり ～華やかに花舞う小牧山城～

(3月28日～4月10日、小牧山
来場者数 82,656人)

4月6日、7日には、小牧山の満開の桜の下、あいち戦国姫隊、名古屋おもてなし武将隊、清洲城武将隊 桜華組の演舞をはじめ、幸若舞、雅楽やよさこいなどが出演し、信長公をテーマに様々な催しを行った。



子ども遊びウィーク ～信長さんにつづけ～

(4月27日～5月6日、小牧山、まなび創造館
来場者数 2,356人)

小牧山では、5月3日に子どもとその家族を対象に「あつまれ！小牧あそび城」を、4日に年長から小学校6年生の幼児・児童を対象に、「小牧山城築城450年記念第9回小牧山親子ラリー 信長の野望～まぼろしの神獣“麒麟”を求めて～」を行った。まなび創造館では、4月27日から5月6日に「たしろちさと原画展」を、5月3日、5日、6日には、「わくわく子ども劇場」を行った。



小牧市歴史館企画展 ～信長ゆかりの女性たち～

(5月17日～6月19日、小牧市歴史館
来場者数 6,394人)

450年前の戦国の世を生きた信長公にゆかりのある女性たちにスポットをあてたパネル展示を行った。



市民講座「風雲児信長と小牧山城」

(5月24日、31日、6月14日、21日、
28日、東部市民センター、参加者数 70人)

早川潤吉郎氏による、小牧山城と戦国武将達との関わりについて、講座を行った。



バラ・アジサイまつり ～花と緑で 夢・チャレンジ～

(6月1日～16日、小牧市総合公園市民四季の森
来場者数 35,000人)

築城450年にちなんだ企画や観光大使の『憲俊』、小牧版なごやコーチン・キャラクター『こまちん』の登場や体験型謎解きイベント「信長の秘宝を探せ!!」など、さまざまなイベントを行った。



小牧市歴史館ジュニア企画展 ～織田信長ってどんな人？～

(7月19日～9月18日、小牧市歴史館
来場者数 8,079人)

小中学生を対象に、信長公が天下統一をめざすまでをパネルで紹介した。



小牧市歴史講座

「蒼き信長～乱世に生きる～」

(7月20日、8月3日、17日、31日、
9月14日、まなび創造館、参加者数 303人)

戦国の乱世を果敢に生き抜いた信長公の半生について、講座を行った。



小牧平成夏まつり

～信長築城450年小牧から夢を～

(7月27日、28日、小牧市市民会館～小牧駅
来場者数 95,000人)

信長山車をはじめとする18台の行灯山車がパフォーマンスとともに小牧の街中を練り歩き、小牧の夏の夜を彩った。

28日のフィナーレイベントでは、築城アイドルの発表がされ小牧市に新たなアイドルが誕生した。



信長公 夢・チャレンジ街道ツアー

～小牧山城の歴史を探る～

(8月24日、小牧駅～小牧山、参加者数6人)

『信長公 夢・チャレンジ街道』を歩きながら、信長公の誕生から小牧山城築城までを解説、小牧山では、最新の発掘調査の状況を説明し、石洗い体験を行った。



小牧市歴史館企画展

～信長が築いた小牧山城の石垣～

(9月20日～10月16日、小牧市歴史館
来場者数 14,636人)

小牧山城主郭地区の発掘調査で明らかとなった成果を中心に、パネルや出土遺物、石垣復元模型などを展示して紹介した。



こまき信長まつり

(9月21日～23日、小牧山、小牧駅前周辺、
小牧市市民会館、来場者数 125,000人)
宵まち楽市楽座、小牧山お月見まつり、小牧山新能、小牧山ランドマークフェスタ2013、こまき信長・夢フォーラム、小牧バル、小牧山城見市を連携して開催した。(詳細は13ページ)
※7つの事業が連携



市民講座

「鬼才信長とゆかりの名将・名人・才女」

(10月15日、29日、11月5日、19日、
12月3日、味岡市民センター、参加者数 76人)
信長公をとりまく武将や女性たち、小牧山城と幻の安土城などについて、早川潤吉郎氏による講座を行った。



小牧市民まつり

～夢・チャレンジ 450th Anniversary～

(10月19日、20日、小牧山ほか
来場者数 100,000人)
築城450年を記念した様々な催しを小牧山、市民会館、小牧駅前会場で行った。特に小牧山会場では「いざ!小牧山城」と題し、信長公を身近にふれる機会となった。



教育展

～小牧山城築城450年記念 作品展～

(11月6日～10日、まなび創造館
来場者数 9,000人)
市内の小中学生や養護学校の児童・生徒が制作した図工や美術、書写の優秀作品を展示した。今年は、信長公や小牧山をテーマにした作品が多数出品された。



小牧駅周辺イルミネーション

～きらめく 信長 夢街道～

(11月8日～12月25日、小牧駅周辺)
「きらめく信長 夢街道」と題し、小牧駅前広場から商店街にかけて約8万球のイルミネーションを設置し、中心市街地のにぎわいの創出を図った。



文化財愛護のつどい 小牧山城築城450年 ～我がまちに残る歴史と文化～

(11月16日、小牧市役所、小牧山
参加者数105人)

信長公を題材にしたパネルシアター、小牧山や小牧城下町についてのオリエンテーションなどを行い、小牧山城でボランティアガイドによる説明や発掘調査で出土した石垣の裏込石の洗い体験を行った。



いきいきこまき

小牧山城築城450年受継ごう

～食・緑・暮らし・安心・安全～

(11月16日、17日、小牧市市民会館
来場者数52,000人)

農業祭・生活展・環境フェア・消防フェアの4つのイベントからなる『いきいきこまき』を開催した。今年は、観光大使「憲俊」のトークショーや甲冑試着体験などを行い、築城450年のPRを行った。



こまきこども信長検定

(12月1日、小牧市役所、参加者数25人)

築城450年を記念して作成した「まんが織田信長公伝『麒麟の城』～おじさんの夢 小牧山城～」から50問を出題し検定を行った。



市民劇「小牧山城夢語～信長より刻を越え ～戦国音楽絵巻」

(12月22日、小牧市市民会館ホール
来場者数1,300人)

音楽・ダンス・演劇などの舞台芸術を通して、小牧山を中心とした小牧の歴史を紹介した。



ライブ・プロジェクションマッピング ショー “アゼレア”

(12月21日～23日、小牧市市民会館
来場者数12,372人)

信長公と小牧山城のつながりをテーマにした3D映像と生の和太鼓演奏、よさこい踊りの競演によるライブ・プロジェクションマッピングショーを上演した。(詳細は15ページ)



(2) メイン事業「こまき信長まつり」

■日時／来場者数（主催者発表）

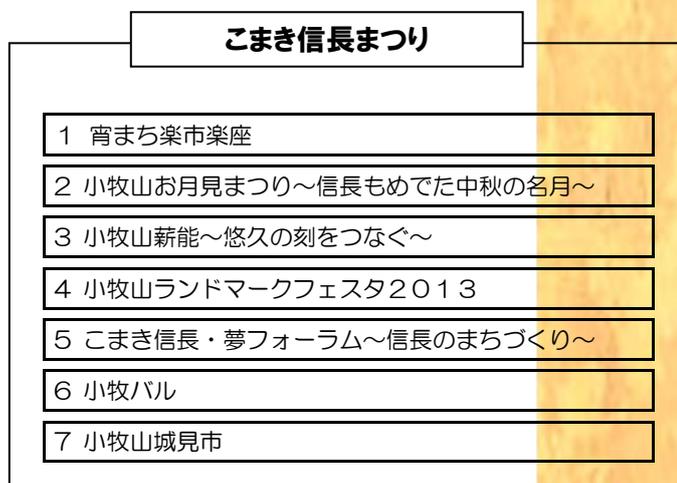
平成 25 年 9 月	21 日 12:00~20:00	31,000 人
	22 日 12:00~20:00	43,000 人
	23 日 12:00~18:00	51,000 人
		計 125,000 人



■会場

小牧山、小牧駅周辺、小牧市市民会館

■連携事業



高橋英樹さん



菊池桃子さん



観光大使
憲俊さん



スペシャルパーソナリティ
宮本忠博さん

1 宵まち楽市楽座（9月21日～23日 小牧山）

(1) 信長公をテーマにしたステージイベント

武将隊・甲冑隊の出演、信長の城サミット、憲俊の大声大会、クリスグレンの信長ヒストリア、信長の愛した鷹狩り、高橋英樹と菊池桃子が語る織田信長公



(2) 楽市楽座（小牧商工会議所主催）

信長公にゆかりのある尾張・名古屋・知多地域 23 の市町の出店者による物販販売、名古屋コーチンひきずり試食会、ご当地キャラクターお出迎え・地域観光PR、太鼓競演会、頂の茶屋、麓の茶屋



(3) 郷土芸能の披露

秋葉祭の山車、棒の手、木遣り、石引き体験



2 小牧山お月見まつり～信長もめでた中秋の名月～

(小牧市観光協会主催、9月21日～23日、小牧山)

内容 小牧山月見汁、観月会、戦国茶会、小牧市観光協会推奨品等販売、観光ボランティアガイドの運営



3 小牧山薪能～悠久の刻をつなぐ～

(小牧市教育委員会主催、9月21日 小牧山)

演目 観世流・能「杜若」、和泉流・狂言「附子」、観世流・能「鞍馬天狗」



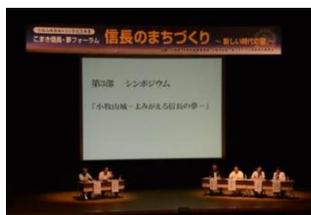
4 小牧山ランドマークフェスタ2013

(小牧青年会議所主催、9月21日、22日 小牧山)

内容 小牧山のライトアップ、灯籠の手作り体験及び信長公のオブジェ設置、織田信長公も歩いた!?灰取街道「清洲城～小牧山城への道 燈火リレー」、夢風船、織田信長公モニュメント

5 こまき信長・夢フォーラム 「信長のまちづくり～新しい時代の扉～」

(小牧市教育委員会主催、9月22日 小牧市市民会館ホール)



内容 春風亭昇太師匠の記念落語会、講演「史跡整備～最新の動向と事例～」、報告「小牧山城の調査と整備」、シンポジウム「小牧山城～よみがえる信長公の夢～」

6 小牧バル (小牧にぎわい隊主催【行政提案型市民協働事業】、9月20日～22日 小牧駅周辺)

内容 小牧駅周辺の飲食店31店舗にて食べ歩き・飲み歩きイベント



7 小牧山城見市 (小牧にぎわい隊主催、9月22日 小牧駅前線等)

内容 小牧駅前線を歩行者天国にし、クラフト作品や飲食販売の出店、ならびに信長公の時代背景を思わせるパフォーマンスなど



（3）グランドフィナーレ「ライブ・プロジェクションマッピングショー“アゼレア”」

■日時／来場者数（主催者発表）

平成 25 年 12 月	21 日 19:00～	／	3,250 人
	21 日 20:00～	／	1,026 人
	22 日 19:00～	／	3,712 人
	22 日 20:00～	／	1,182 人
	23 日 19:00～	／	2,352 人
	23 日 20:00～	／	850 人

計 12,372 人



■会場 小牧市市民会館

■内容

小牧市市民会館の幅 60m、高さ 20m の壁面に 3D 映像を投影し、音楽、和太鼓・よさこいのライブパフォーマンスと融合したプロジェクションマッピングショーを実施

第一章

小牧の自然や環境を中心に映像を構成。
小牧の良さをビジュアル中心に展開。

第二章

信長公に扮した「築城アイドル」が登場し、
敦盛の一節を舞う。

第三章

よさこい・和太鼓のライブパフォーマンスと
融合したパフォーマンス。

第四章

ふるさと・小牧への思いを信長が謳い揚げる。



■ライブパフォーマンス出演

織田信長役：築城アイドル みゆ

和太鼓奏者：稲垣由美子、浅野裕美子

よさこい団体：晴留屋プロジェクト、駆気乱、酔夢譚





二. 市民・事業者等による事業の連携・支援

（１）協働提案事業・市民団体チャレンジ事業

■協働提案事業 協働提案事業化制度により「小牧バル」を行いました（実施：小牧にぎわい隊）。

内 容：小牧駅周辺の飲食店にて食べ歩き・飲み歩きイベント

実施日：9月20日～22日 参加店舗数：31店舗

チケット：1冊5枚綴り前売り3,500円／当日4,000円、販売数660冊

バルミゴン運行（無料）：バル期間中、バル店舗間を送迎（9月20日～22日18時～23時）

まちイベントクラウドサービス：小牧バル参加店舗の混雑状況をスマートフォンの地図上で共有

後バル：余ったチケットを1枚550円の金券として使用（10月1日～10日）



■市民団体チャレンジ事業 市民活動団体等が小牧山城築城450年をPRするために行った事業に対して補助を行いました。

No.	団体名	事業内容	補助額
1	酔夢譚	・「小牧山城築城450年」をテーマとした曲、振り付けの制作 ・市内外のイベント等で踊りを通じて小牧市と築城450年をPR	200,000円
2	小牧商工会議所女性会	・こまき信長まつり参加太鼓団体総員と一般参加者による織田信長公顕彰450人太鼓、プロの太鼓衆による演奏 ・残暑のまつり会場における涼のおもてなしとして「ところてん」を調理販売 ・他府県の女性会に築城450年PR	200,000円
3	吉五郎太鼓保存会	・信長をテーマとした曲「NOBUNAGA450」を作曲、それに合わせた衣装や袴の制作 ・市内外のイベント等で「NOBUNAGA450」を演奏し築城450年のPR	200,000円
4	駆気乱	・織田信長をイメージした曲『鷹龍』を演舞し、市内外のイベント等で築城450年のPR	200,000円
5	小牧歴史ガイドボランティアたぶの木会	・歴史ガイドと合わせて、小牧山の案内、街の情報をお知らせ ・小牧山と歴史館のパンフレットを作成 ・信長と小牧山の関わりを学ぶ歴史講座の開催 ・歴史館で甲冑試着体験の実施	158,000円
6	晴留屋プロジェクト	・チームオリジナルキャラクター名古屋コーチンの着ぐるみ「なるコーチンくん」に武将コスチュームをさせた「のぶコーチンくん」を作成 ・名古屋コーチンPR曲「お鶏踊ればよさコーチン」を築城450年を記念した詞に変え、音頭調にアレンジ ・築城450年イメージ演舞曲「戦国太鼓」制作	192,000円
7	こまき婚活プロジェクト	・小牧山周辺で婚活イベントを行い、婚活者の出会いの場を提供するとともに、築城450年をPR	200,000円
8	小牧探検隊実行委員会	・小牧市内を会場とした「宝探し」イベントを実施。小牧市の歴史・文化、地域の情報を盛り込み、宝箱の設置場所に文化財所在地や観光スポットを選定することで小牧の魅力をPR	187,000円
9	NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク（ニワ里ねっと）小牧事業部	・講談師の旭堂南海氏と共に小牧山を散策 ・曲輪や本丸などの現地数箇所、近くの別会場にて信長公や小牧山城に関する講談 ・考古学の専門家が随行し、近年の小牧山の発掘調査成果を解説	141,000円
10	小牧戦国少女隊	・オリジナル曲「乙女笑顔道」を作曲 ・平成夏まつり・こまき信長まつり・市民まつりを始め、市内のイベントの際に歌と踊りで小牧をPR	136,000円

（２）連携事業、協賛事業、PR事業

■ **連携事業** 市や公共団体、外郭団体などが自主的に事業を実施し、その内容が「織田信長公 小牧山城築城 450 年事業」を広く周知するための事業

小牧山城築城 450 年記念スタンプラリー
実施期間：1 月 1 日～10 月 25 日（小牧市観光協会）



小牧の観光めぐり
～信長の天下統一への始まりの地“小牧”をめぐる～
実施日：3 月 20 日（小牧市観光協会）

小牧山城築城 450 年記念 小牧山観光写真コンテスト
実施期間：4 月 1 日～平成 26 年 1 月 31 日（小牧市観光協会）



設立 30 周年記念健康フェスティバル
実施日：6 月 22 日（小牧市体操連盟）
場所：パークアリーナ小牧

桃花台まつり
実施日：8 月 3 日、4 日（桃花台区長会）
場所：桃花台中央公園



中部航空音楽隊コンサート
実施日：8 月 10 日（航空自衛隊 小牧基地）
場所：小牧市市民会館

移動美術館「ものの心の絵姿と茶の湯のうつわ」
実施期間：8 月 13 日～9 月 8 日（市文化振興課）
場所：まなび創造館



せせらぎナイトコンサート
実施日：8 月 17 日（小牧市施設活用協会）
場所：小牧市市民会館

秋の小牧山ノルディックウォーク大会
実施日：11 月 17 日（市スポーツ推進課）
場所：小牧山





小牧の観光めぐり
 築城アイドルと一緒に信長の足跡を訪ねて～お城の進化論～
 実施日：12月12日（小牧市観光協会）

小牧山城築城 450 年特別講座
 活躍する若者たち～夢、チャレンジ～
 実施日：12月17日（市生涯学習課）
 場所：小牧市公民館



■協賛事業 事業者等が「織田信長公 小牧山城築城450年記念事業」基本方針の趣旨に賛同し、自主的に行った事業

【イベント】

	事業名	実施日	場所	団体名
1	対談「桃山文化を語る 志野・織部を中心に」	4月7日	メナード美術館	メナード美術館
2	名鉄ハイキング	4月21日	小牧駅～岩倉駅	名古屋鉄道(株)
3	戦国浮世絵展、甲冑試着体験	9月21日～23日	アピタ小牧店	小牧商工会議所
4	名鉄ハイキング	9月22日	小牧駅～田原神社前駅	名古屋鉄道(株)

【商品開発等】

	事業名	団体名
1	小牧市歴史館記念・無料入館券の発行	小牧市施設活用協会
2	小牧山城築城450年記念定期預金	東春信用金庫
3	小牧山城築城450年記念切手シート	日本郵便(株)東海支社
4	地域情報誌「mi-ru-to 小牧市」発行	(株)ゼンリン
5	ステッカー、絵馬、ストラップ、iphone ケース	オオツカビジュアル(株)
6	信長さくらの宴、小牧山城麦酒、信長往古の夢	小牧小売酒販組合小牧支部
7	バッグチャーム&キーホルダー、ペンダントネックレス、ワンポイントブローチ	宝飾工房 K's CRAFT
8	ステッカー	ステカ
9	ゴルフ	(株)桃の館
10	小牧山信長弁当	ダイニングカフェ シーズン

■ PR事業 「織田信長公 小牧山城築城450年記念事業」の実施を広く周知するため、ロゴマーク等を使用した事業

1	小牧商工会議所報にロゴとイラスト使用（小牧商工会議所）
2	創業63周年祭チラシにロゴ使用（榑江口）
3	事務所扉や社用車にロゴ貼り付け（ゼットスタッフ榑）
4	広告、名刺、店内掲示物にロゴ使用（ユニー榑アピタ小牧店）
5	スポーツ振興会だよりにロゴ使用（三ツ瀨小学校区スポーツ振興会）
6	瓦版にロゴ使用（小牧にぎわい隊）
7	リアル戦国トリック「小牧山城編」チラシにロゴ使用（榑サンデーフォークプロモーション）
8	大会要項にイラストを使用（小牧市ペタンク協会）
9	善意銀行創立50周年記念式典パンフレットにロゴ使用（小牧市社会福祉協議会）
10	商品パッケージにロゴ使用（榑クレスト）
11	店のメニュー表にロゴ使用（町屋カフェ太郎茶屋鎌倉小牧店）
12	2013全日本ベネフィットーナメント愛知大会の大会プログラムにロゴ使用（世界誠道空手道連盟愛知支部）
13	タクシー後部ドアにロゴのステッカー貼り付け（小牧タクシー榑）
14	年間プログラムにロゴ使用（中部フィルハーモニー交響楽団）
15	自社ホームページ、商品POPにロゴ使用（宝飾工房 K's CRAFT）
16	職員用名刺にイラスト使用（東春信用金庫）
17	チラシにロゴ使用（伊藤圭太税理士事務所）
18	ふれあいデイサービスセンターパンフレットとチラシにロゴ使用（小牧市社会福祉協議会）
19	Tシャツにロゴ使用（小牧市消防団第二分団）
20	PR用パネルにイラストを使用（榑フジカネ）
21	小牧医報にイラスト使用（小牧市医師会）
22	会議所ニュース小牧特集ページにロゴ使用（小牧商工会議所）
23	小牧ライオンズクラブ会報にロゴ使用（小牧ライオンズクラブ）
24	商品パッケージにロゴ使用（榑オリエンタルコーヒー）
25	夏まつりポスターにロゴ使用（ゆう友せいふ運営協議会）
26	タクシー後部ドアにロゴのステッカー貼り付け（あおい交通榑）
27	ディスクロージャー誌にロゴ使用（東春信用金庫）
28	小牧山城築城450年記念積金パンフレットにロゴ使用（東春信用金庫）
29	中村文昭講演会IN小牧チラシにロゴ使用（小牧であい隊）
30	北里地区(旧北里村)小牧市合併50周年記念事業記念誌にロゴ使用（北里地区(旧北里村)小牧市合併50周年記念事業実行委員会）
31	第53回ガス展チラシ、会場内ポップにロゴ使用（東邦瓦斯榑）
32	豊寿苑夏祭り2013ポスター及びチラシにロゴ使用（老人保健施設豊寿苑）
33	キモノでこまき信長まつりを盛り上げよう参加賞にロゴシール作成（大菱屋）
34	広告にキャッチフレーズ使用（榑コスモ技研）
35	ゆう友せいふ文化祭チラシにロゴ使用（小牧市西部コミュニティセンター）
36	こまキッズフェスタ2013チラシ及びスタンプラリーカードにロゴ使用（小牧市子ども会連絡協議会）
37	小牧山城杯中部少年剣道大会パンフレットにロゴ使用（小牧市剣道連盟）
38	地区名簿にイラスト使用（常普請区）

※その他、市主催事業等や関連団体のチラシやポスター等にロゴ・イラストを使用 58件

(3) 観光特産品開発事業

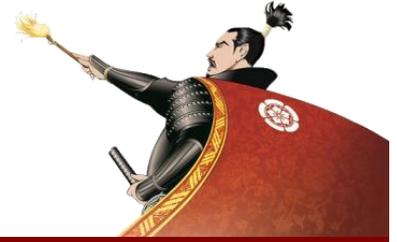
小牧市の観光特産品の開発・改良・販売促進に向けてチャレンジする事業者に対して補助を行いました。

名古屋コーチン・ギフトパッケージ箱、こまちん手提げ紙袋	小牧山城もなか	織田木瓜ペンダントネックレス	壮平さんどら焼き	信長公きんつば
				
補助額 363,000 円	補助額 475,000 円	補助額 161,000 円	補助額 208,000 円	補助額 258,000 円
小牧商工会議所	(有)武野屋	宝飾工房 K's CRAFT	(株)さびす屋商店	
信長餅	名古屋コーチンの卵を使ったコーチンぱに卵ジェラート	小牧の特産品桃シャーベット	小牧どら	名古屋コーチン親子丼
				
補助額 379,000 円	補助額 24,000 円	補助額 176,000 円	補助額 167,000 円	補助額 313,000 円
町屋カフェ太郎茶屋 鎌倉 小牧店	(株)ヤオカネ		鯛焼き夢工房 つくりた手	デリカ食品工業(株)

(4) 観光旅行商品開発事業

小牧市の知名度を高めるとともに、小牧を訪れ魅力を知ってもらうため、旅行商品の開発・販売支援を行う事業者に対して補助を行いました。

織田信長公 築城450年 小牧山城と貸切りリノモ乗車体験	定光寺のもみじ祭と織田信長築城450年小牧山城
7月30日、8月24日	11月12日、11月23日
織田信長公ゆかりの小牧山城を見学。リノモを貸切り、リノモ浮上の体験を行う。	織田信長公ゆかりの小牧山城を見学。定光寺でもみじ狩りを行う。
	
補助額：177,000 円	補助額：100,000 円
京都新聞企画事業(株)京都新聞旅行センター	



三. 広報宣伝事業

(1) 情報発信事業

■ プレ事業

平成 25 年の小牧山城築城 450 年を事前に PR するため、平成 24 年にプレ事業を行いました。

【小牧山城築城 450 年記念ロゴマーク・ポスターの作成】

築城 450 年記念ロゴマークとポスター（B2：1,000 枚、B3：500 枚）を作成しました。



ポスターは、東海 3 県の観光協会や愛知県内の道の駅、空港、市内郵便局・金融機関・コンビニ、市民活動団体、市内全区、市内公共施設等に配布し事前 PR に努めました。

【「歴史史跡散策&パワースポット」を巡るツアーの開催】

月間 Cheek 誌面に小牧山城築城 450 年の記事を掲載するとともに、小牧山城をはじめとする歴史史跡を巡るツアーを開催しました。

実施日：平成 24 年 10 月 28 日（日）

行程：小牧山城見学→名古屋コーチンランチ（かな和）→間々観音見学→田縣神社見学・美乳ヨガ実施

■ プレスリリース

小牧山城築城 450 年記念事業及び小牧市の観光資源を効果的に PR するため、全国のマスメディアに情報発信を行いました。



【配信先（171箇所）】

市政記者クラブ：6 社、県政記者クラブ：20 社、新聞、テレビ、ラジオ：76 社、雑誌・制作・リサーチ会社：69 社

配信日	配信内容	配信日	配信内容
1 5月20日着	・織田信長のつくったまち・小牧市が市をPRする「ご当地アイドル」募集のお知らせ	5 9月3日着	・愛知県知事表敬訪問のお知らせ ・こまき信長まつりのお知らせ ・ライブ・プロジェクトマッピングショー予告編公開のお知らせ
2 7月1日着	・愛知県小牧市の「築城アイドル」2次募集のお知らせ ・7/28「築城アイドル」決定に伴う合宿型ツアーオーディション取材帯同・審査参加のおねがい	6 10月5日着	・「築城アイドル」がブロック小牧山城築城のお知らせ ・ブロック城下町に住もう！プロジェクト参加のお知らせ
3 7月11日着	・みんなが考える夢の小牧山城コンテスト参加者募集のお知らせ	7 11月25日着	・「ブロック小牧山城・城下町」が完成披露式典開催のお知らせ
4 8月5日着	・小牧市をPRする「築城アイドル」誕生！のお知らせ	8 12月11日着	・ライブ・プロジェクトマッピングショー公開リハーサル開催のお知らせ

■ 観光プロモーション活動

市外のイベントに出展し、小牧市の観光 PR を行いました。

日にち	イベント名	日にち	イベント名
平成24年		平成25年	
10月13日、14日	平成24年度小牧基地航空祭	10月6日	日本どまんなか城下町フォーラム 第57回さぶ信長まつり
11月2日	第5回愛知県観光交流サミットin犬山2012	10月13日	NAGO-1グランプリ
11月3日	2012福岡空港スカイフェスタ	10月19日、20日	第59回名古屋まつり
平成25年		10月24日	名古屋城秋の収穫祭
2月9日、10日	東京都における観光物産展メグルグルメあいち	10月27日	秋の犬山お城まつり
2月17日	あいちグルメまるごと食べ隊フェスタ	11月8日	旅フェア日本2013（東京）
3月9日	セントレアで探そう！中部のいいね！	11月9日	いわくらし民ふれ愛まつり2013「い〜わくんの お友だちフェスタ2013!!」
4月13日、14日	第25回織田信長サミット「楽市楽座inから」	11月9日、10日	B-1グランプリin豊川「魅力発信！愛知・東三 河フェア」
5月29日～6月2日	名古屋城まるはち博覧祭	11月16日、17日	地域ブランドサミットINゆわたはま2013
6月6日	愛知・名古屋観光プロモーション（大阪）	11月23日、24日	かすがいビジネスフォーラム2013「尾張周辺 ご当地グルメ大集合」
7月20日、21日	徳川園宵まつり		
8月1日、2日	TIC Tokyo東京地域ブランドプロモーション情報発信事業		
9月12日、13日	愛知の観光展「華やきあふれる武将のふるさと」		

（２）「こまき築城アイドル」夢・チャレンジプロジェクト

■概要

小牧山城築城450年記念事業の一環として、小牧山城と小牧市の魅力を全国に発信することを目的とし、築城アイドルを全国から募集し、募集段階からオーディション、誕生、そしてブロックによる築城までをコンテンツとして、メディアに向けて情報提供を行いました。



■築城アイドル、アシスタントの誕生

全国から19人の応募があり、1次審査を通過したファイナリスト10人が、7月27日、28日の織田信長公所縁の地を巡る合宿型ツアーオーディションで課題に臨み、小牧平成夏まつりの公開オーディションを経て、「築城アイドル」に“みゆ”（本名：加川未友）、アシスタントに“さき”（本名：石田早紀）が選ばれました。

■築城アイドルの活動

フェイスブックを活用するとともに、各種イベント出演、メディア出演・取材対応、市民・ファンとの交流を行い、築城アイドルの視線から小牧山城と小牧市の魅力を全国へと発信しました。

■メディアキャラバン

築城450年記念事業や小牧市について各メディアで取り上げてもらうため、関東地区のメディアに向けて、訪問・PRを行いました。



【1回目】9月11日

<訪問先> 東京方面（株）ベストセラーズ、（株）交通新聞社、（株）JTBパブリッシング、（株）学研パブリッシング）



【2回目】11月7日

<訪問先> 東京方面（株）中日新聞社東京本社、（株）東京スポーツ新聞社、（株）BS朝日）



■愛知県・近隣市町へのキャラバン

小牧山城築城450年記念事業のPRをするため、愛知県知事をはじめ、近隣6市町にPRを行いました。

8月30日 <訪問先> 愛知県知事



10月17日、21日、24日、25日

<訪問先> 春日井市長、豊山町長、北名古屋市長、岩倉市長、清須市長、犬山市長

■その他活動風景



■こまき築城アイドルの主な活動

月日	活動内容
8月5日	築城アイドル決定の報告(市長、市議会、小牧商工会議所、小牧市観光協会)
8月13日	市広報「キラっとこまき(10/1号)」取材(市役所)
8月18日	「城見市」参加(小牧駅前)
8月20日	CCNet取材「シンガーソングウォーカー」(小牧山城)
8月24日	「夢チャレンジ街道ツアー」参加(市内) 「秋葉まつり・宵祭」参加(神明社〜ラピオ南)
8月25日	「秋葉まつり・本祭」参加(神明社)
8月26日	市議会表敬訪問
8月29日	「小牧豊山くらしのニュース」取材(市役所)
8月30日	愛知県知事表敬訪問(愛知県公館)
9月4日	CCNet「この人に聞く」ロケ(CCNet社)
9月5日	FM愛知「EX Station 川本えこ」収録(FM愛知社)
9月7日	東海ラジオ「小島一宏 一週間のごぶサタデー」電話出演(市役所)
9月8日	市民活動祭(小牧市民館)
9月10日	ラジオサンキュー「サンキューモーニング」出演(瀬戸・ラジオサンキュー社)
9月11日	東京メディアキャラバン(東京4社)
9月12日	「愛知の観光展」出演(横浜新都市ビル)
9月13日	NHKラジオ「タ刊ゴジラジ」出演(市役所)
9月14日	東海ラジオ「小島一宏 一週間のごぶサタデー」電話出演(市役所)
9月15日	「木曾川町一豊まつり」出演(一宮市木曾川運動場グラウンド会場)
9月16日~20日	中京テレビ取材
9月19日	一色小学校・梨の収穫(一色小学校)
9月21日~23日	「こまき信長まつり」出演(各会場) 東海ラジオ「小島一宏 一週間のごぶサタデー」電話出演(市役所)
9月24日	ブロック小牧山城・築城(ラピオ)
9月28日	「篠岡小学校運動会」参加(篠岡小学校)
10月1日	ブロック小牧山城・築城(ラピオ)
10月5日	「ごみ散乱防止市民行動の日」参加(市内) 「ぎふ信長まつり」出演(岐阜駅前 信長ゆめ広場)
10月6日	「日本どまんなか城下町フォーラム」出演(大垣駅通り新大橋特設ステージ)
10月8日	ブロック小牧山城・築城(ラピオ)
10月10日	「三ツ瀨小学校稲刈」参加(三ツ瀨小学校)
10月12日	「安全なまちづくりフェアinピアール2013」出演(桃花台アピタ:ピアール広場) 「ケーブルテレビフェスタ2013」出演(オアシス21)
10月13日	「NAGO-1グランプリ」出演(矢場公園)
10月14日	プラネタリウム天文講座「ブラック星博士の東海地方征服計画in小牧2013」出演(小牧中部公民館)
10月17日	近隣市町キャラバン
10月19日	「小牧市民まつり」出演(市内) 「名古屋まつり」出演(オアシス21)
10月20日	「空の日イベント」出演(県営名古屋空港) 「小牧市民まつり」出演(市内)
10月21日	近隣市町キャラバン
10月22日	小牧山ライブ(小牧山) ブロック小牧山城・築城(ラピオ)
10月24日	近隣市町キャラバン
10月25日	近隣市町キャラバン
10月28日	中部大学取材(市役所)
10月29日	小牧山ライブ(小牧山) ブロック小牧山城・築城(ラピオ)
10月31日	「篠岡中・文化祭」参加(篠岡中学校) 「第二保育園 秋まつり」参加(第二保育園)

月日	活動内容
11月2日	プロジェクションマッピング全体練習(東部市民センター)
11月3日	「小木小学校・秋まつり」参加(小木小学校)
11月4日	「清須市・うつけ祭」出演(清洲市民センター)
11月5日	小牧山ライブ(小牧山) ブロック小牧山城・築城(ラピオ)
11月7日	東京メディアキャラバン(東京3社)
11月8日	「旅フェア日本2013」出演(東京池袋サンシャインシティ)
11月9日	「いわくら市民ふれ愛まつり」出演(岩倉市総合体育文化センター) 「B1グランプリin豊川」出演(豊川市)
11月10日	「清須市・食育まつり」出演(新川体育館) 小牧山ライブ(小牧山)
11月12日	ブロック小牧山城・築城(ラピオ)
11月15日	名古屋テレビ「ドデスカ」出演(市民会館)
11月17日	「障害者児レクリエーション」参加(パークアリーナ) 「いきいきこまき」出演(市民会館)
11月19日	小牧山ライブ(小牧山)
11月21日	ブロック小牧山城・築城(ラピオ)
11月23日	「春日井ビジネスフォーラム」出演(春日井市総合体育館) プロジェクションマッピング全体練習(小牧市勤労センター)
11月24日	「春日井ビジネスフォーラム」出演(春日井市総合体育館)
11月26日	小牧山ライブ(小牧山) ブロック小牧山城・築城(ラピオ)
11月30日	「三ツ瀨小収穫祭」参加(三ツ瀨小学校) ブロック受付(市役所)
12月1日	こまきこども信長検定(市役所)
12月1日~7日	ブロック城下町受付(市役所)
12月3日	小牧山ライブ(小牧山)
12月5日	中日新聞取材(市役所)
12月6日	プロジェクションマッピングナレーション収録(大阪)
12月8日	「ブロック小牧山城・城下町完成セレモニー」出演(市役所) プロジェクションマッピング全体練習(小牧市勤労センター)
12月10日	小牧山ライブ(小牧山) 「年末の交通安全県民運動」啓発(アピタ~市役所)
12月12日	「観光めぐり バスツアー」参加(清洲城、小牧山城、岐阜城)
12月14日	「ふらっとみなみ開館5周年記念イベント 三世代交流会」出演(南部コミュニティセンター)
12月15日	「クリスマスダンスフェスタ」出演(西部コミュニティセンター)
12月17日	小牧山ライブ(小牧山) 「生涯学習講座・活躍する若者たち~夢、チャレンジ~」出演(公民館)
12月19日	プロジェクションマッピングリハーサル(市民会館)
12月20日	プロジェクションマッピング公開リハーサル(市民会館)
12月21日~23日	プロジェクションマッピング本番(市民会館)
12月23日	「清須市・うつけ祭」出演(清洲市民センター)
12月26日~27日	ブロック城下町返却受付(市役所)

(3) みんなが考える夢の小牧山城プロジェクト

■概要

次代を担う子どもたちをはじめ、参加者が、小牧の歴史を学び、未来への思いを描き、自分たちの住むまち「小牧」に誇りや愛着を感じるきっかけを作ることを実施しました。

絵画・立体造形・作文部門で募集を行い、参加者は、織田信長公が初めて築いた小牧山城を自由な発想で表現しました。

絵画部門 380 作品、立体造形部門 34 作品、作文部門 575 作品の応募の中から、それぞれ、審査員特別賞、入選が決定しました。



■審査員

- ・ 絵画部門、立体造形部門：白井 久義氏（名古屋芸術大学 大学院美術研究科教授）
- ・ 作文部門：傍嶋 則之氏（名古屋経済大学 経営学部 准教授 地域連携センター長）

■審査員特別賞

【絵画部門】

区分	氏名	学校名等
中学生	吉川 晴菜さん	応時中学校
小学生以下	安田 照英さん	村中小学校



【立体造形部門】

区分	氏名	学校名等
一般	長尾 正巳さん	—
中学生	川端 響さん	篠岡中学校
小学生以下	協同制作 330名	美鳥幼稚園



【作文部門】

区分	氏名	学校名等
一般	谷口 里美さん	—
中学生	稲熊 芽琉さん	桃陵中学校
小学生以下	梶田 蓮さん	光ヶ丘小学校



■入選

【絵画部門】

区分	氏名	学校名等
中学生	今西 柚月さん	応時中学校
小学生以下	山本 真由さん	村中小学校
小学生以下	野々川 文子さん	光ヶ丘小学校
小学生以下	西村 光流さん	光ヶ丘小学校
小学生以下	石丸 友理さん	さくら保育園
小学生以下	横田 茉那美さん	市之久田幼稚園



【立体造形部門】

区分	氏名	学校名等
中学生	齋藤 綾音さん	篠岡中学校
小学生以下	協同制作 367名	美鳥第二幼稚園
小学生以下	藤田 倭令さん	陶小学校
小学生以下	土方 杜馬さん	本庄小学校
小学生以下	竹内 由樹さん	光ヶ丘小学校



【作文部門】

区分	氏名	学校名等
中学生	鈴木 七葉さん	桃陵中学校
中学生	安江 龍吉さん	桃陵中学校
中学生	渋谷 くるみさん	北里中学校
小学生以下	高橋 佳寛さん	村中小学校
小学生以下	堤 弘毅さん	小牧小学校



■授賞式

各部門の授賞式を行いました。

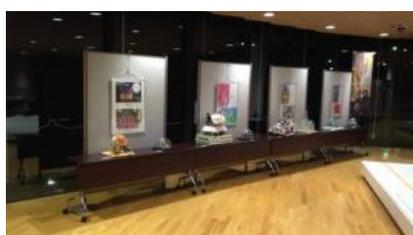
日時 12月8日(日) 13:35~13:45

(ブロック完成セレモニー併催 全体13:15~14:00)

場所 小牧市役所本庁舎2F 多目的スペース

出席 受賞者、山下史守朗小牧市長、伊藤宏行小牧市議会議長、
審査員 傍嶋 則之氏(名古屋経済大学)

MC 築城アイドルみゆ、築城アイドルアシスタントさき、
タレント 宮本忠博氏



■作品展示

入選作品を展示しました。

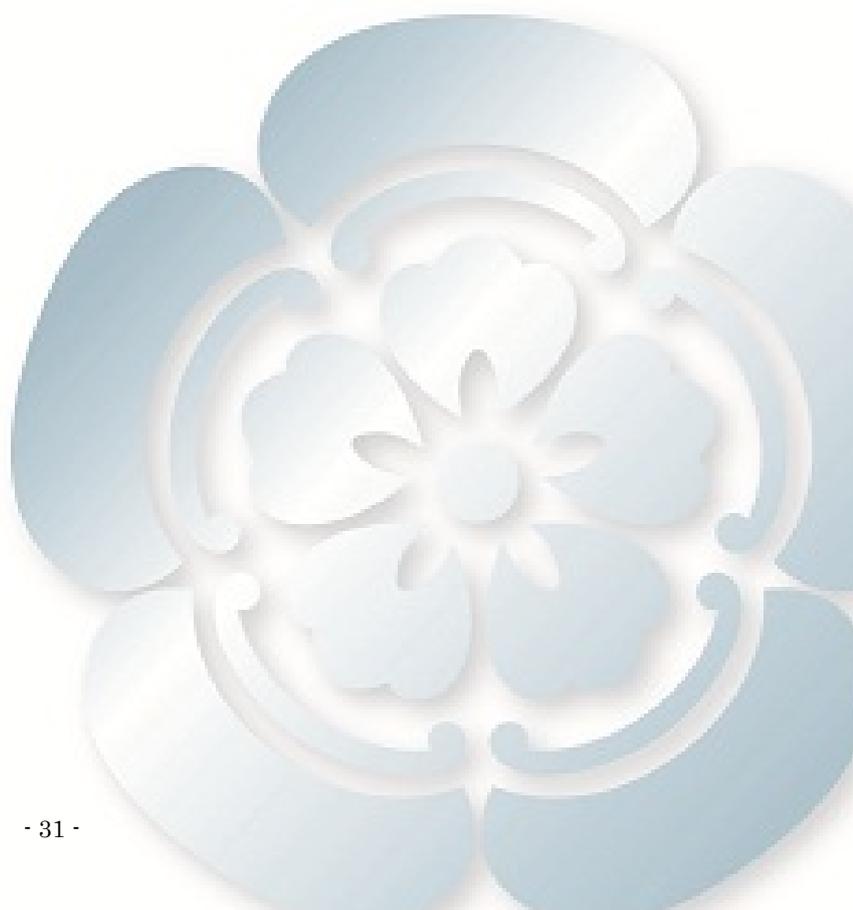
期間 12月8日~12月13日

場所 小牧市役所本庁舎2F 多目的スペース



期間 12月13日~12月23日

場所 小牧市市民ギャラリー1



（４）ブロック城下町に住もう！プロジェクト



■概要

市民参加型プロジェクトとして、織田信長公が天下統一を夢見て自身で初めて築いた小牧山城を築城アイドルが、城下町を一般参加者が制作しました。

サイズ：幅 4,480mm×奥行 6,240mm、高 1,000mm

ブロック総数：約 20 万個

城下町の数：450 軒

■小牧山城の制作

制作期間：9月24日～11月26日（ラピオ5階）

■城下町の制作

制作期間：11月29日～12月7日（小牧市役所）

■完成セレモニー

※「みんなが考える小牧山城」の授賞式と同時開催

日時：12月8日（日）13：15～14：00

場所：小牧市役所本庁舎2F 多目的スペース



（５）観光大使の委嘱

■概要

平成 25 年 1 月 9 日、俳優の憲俊さん（名古屋おもてなし武将隊 初代織田信長役）を小牧山城築城 450 年記念事業「観光大使」に委嘱しました。

憲俊さんは、平成 25 年の 1 年間、観光大使として、小牧山城築城 450 年の主な記念事業に出演し、イベントを盛り上げたほか、記念事業の広報やさまざまな情報発信など、事業 PR の一翼を担いました。



■出演

1月9日（水） 記者会見	4月7日（日） 小牧山さくらまつり	5月25日（土） こまき産業フェスタ
		
6月1日（土） バラ・アジサイまつり	7月28日（日） 小牧平成夏まつり	9月21日（土） こまき信長まつり
		
9月22日（日） こまき信長まつり	9月23日（月） こまき信長まつり	12月21日（土） ライブ・プロジェクション マッピングショー
		

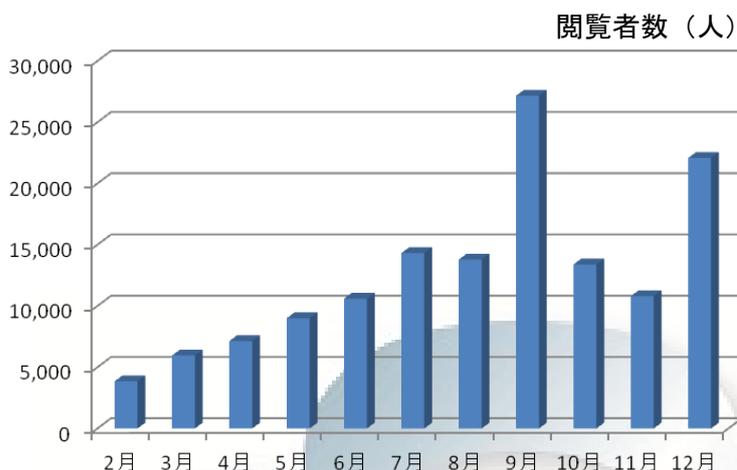
（6）ホームページ、フェイスブック、ツイッターの活用

小牧山城築城450年記念事業をより効果的に全国へ発信するため、小牧山城築城450年記念事業のホームページ、フェイスブック、ツイッターを平成25年2月より、築城アイドル夢・チャレンジプロジェクトのホームページ、フェイスブックを平成25年5月より立ち上げ、情報発信に努めました。

■小牧山城築城450年記念事業のホームページ閲覧者数（H25.12.31現在）



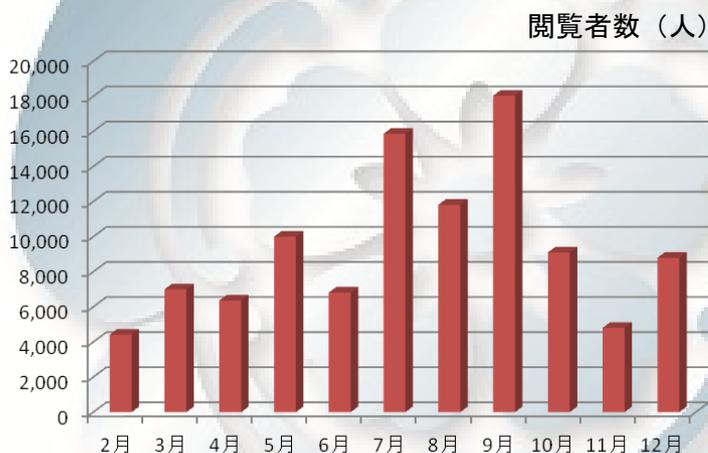
閲覧者数合計 138,059人



■小牧山城450年プロジェクト推進室フェイスブック（H25.12.31現在）

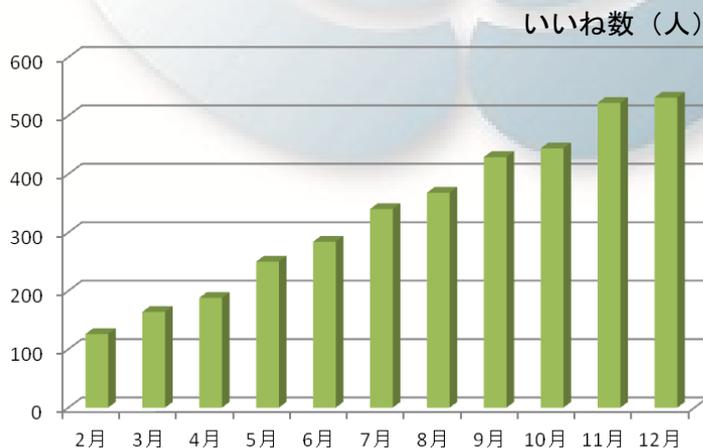


閲覧者数合計 103,005人



※ 「いいね」とは、閲覧者がその内容を「好き、楽しい、支持できる」といった意思表示をする方法

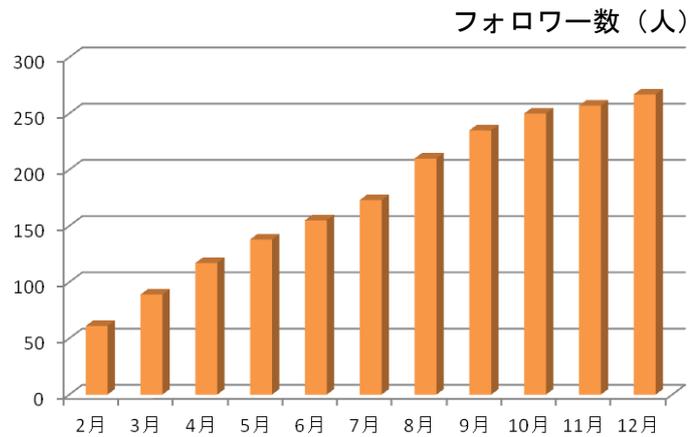
いいね数合計 531人



■小牧山城450年プロジェクト推進室ツイッターフォロワー数（H25. 12. 31 現在）



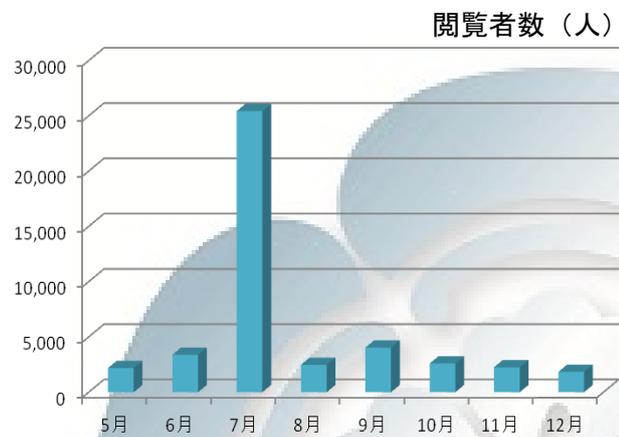
フォロワー数 267人



■築城アイドル夢・チャレンジプロジェクトのホームページ（H25. 12. 31 現在）



閲覧者数合計 44,218人

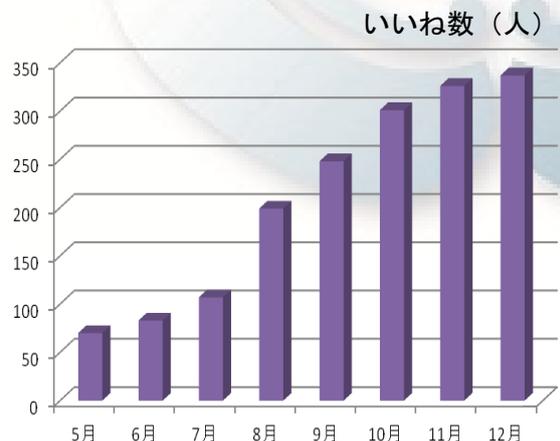
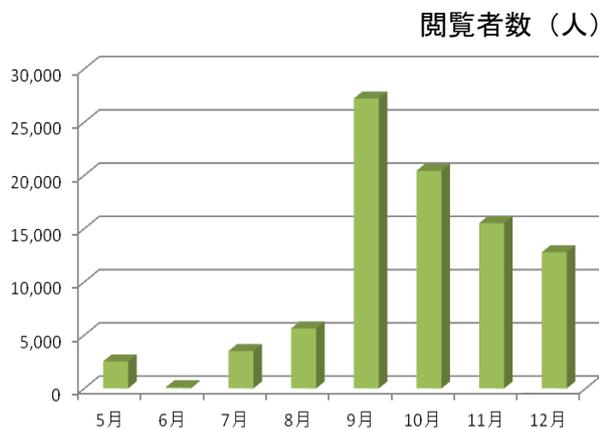


■築城アイドル夢・チャレンジプロジェクトフェイスブック（H25. 12. 31 現在）



閲覧者数合計 87,732人

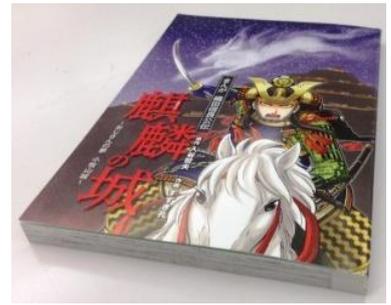
いいね数合計 337人



■ (7) まんが 織田信長公伝『麒麟の城』～おじさんの夢 小牧山城～の作成

次代を担う子どもたちに織田信長公と小牧との関わりを学んでもらい、郷土への愛着と誇りを持ってもらうことを目的として、歴史を学び始める小学校高学年から中学生向けの漫画を作成しました。

小牧山城を築城し、岐阜城に移る頃までの信長公についてわかりやすく、魅力ある人物として描きました。



- 原作 入谷哲夫氏（郷土歴史研究家）
- 作画 すずき孔氏
- 歴史監修 小和田哲男氏（静岡大学名誉教授、文学博士）
- 監修 小牧市教育委員会
- 作成部数 5,000部（市内小中学校や東海三県の公立図書館等へ約2,000部配布）
- 販売場所 小牧市役所、小牧駅前観光案内所、小牧市歴史館（小牧城）
- 価格 450円（販売数 1,196冊 平成26年2月28日現在）



■ (8) 小牧山城 はくつかわら版、築城450年コーナーの設置・信長新聞の作成
 ■ 史跡小牧山の発掘調査の状況を随時紹介した「小牧山城 はくつかわら版」を作成しました。
 【平成24年度 第1号～16号、平成25年度 第1号～第5号（現在も作成中）】

小牧市のシンボル 国指定史跡小牧山で今年も発掘調査が開始されました。
 今年度の発掘調査は主郭（本丸）の南東斜面約460㎡で実施されます。
 8月初旬から調査予定箇所での樹木の伐採を行いました。これは、埋もれた石垣の上に生えている樹木が調査の支障となるだけでなく、樹木の根が石の隙間に入り込み、石垣を傷めてしまうことを防ぐために行ったものです。
 近年の発掘調査では織田信長の築いた石垣が縦々と発見され、専門家、歴史ファンからも注目されている小牧山城。今年度の調査でどのような成果が得られるか期待が膨らみます。

主郭地区発掘調査はじまる

未や土で覆われた斜面の下には、450年前の石垣がのこっています。
 下は昨年度調査箇所を同じアングルから撮影した写真調査前（左）、調査完了時（右）です。



発掘ひとくちメモ ～「小判はでるか？」～
 実は調査現場にいらっしやる方から一番多くいただく質問がコレです。大判・小判は安土桃山時代以降に製造される貨幣で、戦国時代の城である小牧山城から出土する可能性は残念ながらとて低いと想われます。
 調査中ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いします 小牧市教育委員会

今年度の発掘調査はじまる 小牧山城

今年度の史跡小牧山（小牧山城）の発掘調査を11月18日から開始します。今年度は織田信長が小牧山城を築城して450年という節目の年、調査担当者をはじめ作業員一同、さらなる成果が得られることを期待しています。今年度の調査は主郭（本丸）の北西～北東の斜面で実施します。
 土の中に眠る石垣がどのようにめぐっているかなど、戦国時代の小牧山城の姿を推定する手がかりを得るのが主な目的です。調査中は何かとご迷惑をおかけしますが、なにとぞご理解とご協力をお願いいたします。

発掘ひとくちメモ ～「小判はでるか？」～
 小牧山城の調査現場をご覧になった方から一番多くいただく質問がコレです。大判・小判は安土桃山時代以降に製造される貨幣で、戦国時代の城である小牧山城から出土する可能性は残念ながらとて低いと想われます。
 ※このころ山の麓が田舎の「はくつかわら版」にも記載されていますが、正確な位置はよくわかりません。
 調査中ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いします 小牧市教育委員会

■ 図書館本館2階西側に450年記念コーナー「信長の軌跡、その探求～織田信長公小牧山城築城450年記念」の設置・信長や小牧山の関連書籍等を紹介した信長新聞を作成しました。
 【1月号～12月号、号外、13回発行】

信長新聞 編集・発行 小牧市立図書館 平成25年1月4日 (創刊号)

信長の軌跡、その探求～織田信長公小牧山城築城450年記念
 『織田信長と小牧、その1』関連図書情報

新年あけましておめでとうございます。今年度は織田信長公小牧山に築城して450年の記念の年です。図書館でもコーナーを設けて、毎月関連図書を紹介してご紹介する予定です。ぜひご活用ください。また、毎月ご案内申し上げます。

第1回は織田信長と小牧山について、小牧山の歴史的背景から、現在の研究成果まで、主な関連資料をご紹介します。ゴシック体は書名とカッコ（ ）は出版年です。

まず、小牧山が江戸時代からこの地域の名所、史跡であったことは、左図のように①尾張名所図会下巻(1970)や②尾張名所図会附録(小治田真清水)(1971)にくわく取り上げられていることからわかります。
 大正時代には、津田忠助氏の③小牧町史(1926)に、その名の由来、織田信長の築城、城下町の遺構、小牧山碑や漢詩、和歌に詠まれた名勝であったことが記されています。

小牧山は明治以後、愛知県、徳川家、小牧町と所有権が転々しますが、④小牧山と江崎氏(1973)はその経緯と、小牧山を管理してきた江崎氏についてまとめたものです。
 その後、1990年ころから千田嘉博氏の城郭の研究が目され、⑤都市考古学の研究(1991)には、小牧城下町の例が紹介されました。
 小牧市教育委員会では、小牧山の発掘調査を進めて順次調査報告書をまとめるとともに、小牧蔵書として⑥小牧山城(1998)、⑦続小牧山城(2000)を刊行しました。さらに城下町を整備した織田信長の先見性について取り上げ、⑧織田信長と小牧(2009)、⑨小牧山城の織田信長(2009)を刊行しました。その他、⑩信長の城下町(2008)、⑪天下人の城(2012)でも研究成果がまとめられています。
 最近では2011年に石原に「佐久間」の文字の発見で、再び小牧山城が、安土城につながる本格的なものであったと注目されています。去る11月14日放送のNHKの「歴史秘宝ヒストリア」でも紹介されました。⑫織田信長天下布武の足跡(2012)には城の復元想像図が出ています。

 ◎歴史館特別展「墨書石垣石材と佐久間氏～450年の時を経て～」
 平成25年1月18日(金)～2月20日(水) 入館料100円

信長新聞 編集・発行 小牧市立図書館 平成25年1月4日 (創刊号)
 ※表紙画像の再利用許可取得済み

①尾張名所図会(下巻)
 発行: 1970年6月(1919年出版の複製)
 著者: 岡田啓・野口道直/共著
 出版: 愛知県郷土資料刊行会
 『尾張名所図会』は尾張地方の当時の名所・旧跡をまとめたものですが、上巻・中巻・下巻・附録の全4巻として復刻されており、昔の小牧の様子も詳しく書かれています。

②尾張名所図会(附録)
 発行: 1971年2月(1933年出版の複製)
 著者: 岡田啓・野口道直/共著
 出版: 愛知県郷土資料刊行会
 尾張名所図会を補足するための「小治田真清水」としてまとめられました。木曾街道の宿願としての小牧郡があり、その西北に小牧山があると説明しています。また、神明社など小牧山周辺についても解説しています。

③小牧町史
 発行: 1926年12月
 著者: 津田忠助
 出版: 小牧町史編纂会・小牧町教育會
 『永禄六年織田信長此山を相し山頂に城を築き清州から引移つた。常山山頂に天主閣を築き其東麓東部に於て南北十三間半、西部にて十九間四尺を有し、山中西階部及び南麓には多く重畳の邸宅を置いた』p.339(抜粋)と、信長が小牧山に築城し西麓には家臣を住まわせたことが書かれています。

④小牧山と江崎氏 その所有権異動の経緯
 発行: 1973年3月
 著者: 水谷盛光・小牧市教育委員会
 出版: 小牧市教育委員会
 小牧山の所有権の経緯について書かれた資料です。江崎氏と小牧山の関係についても解説しています。郷土史家の水谷盛光氏(故人)が実際に歩いてまとめた報告も貴重です。

(9) パンフレット・ポスター等一覧、PRグッズ・その他広報ツール

■ パンフレット・ポスター等一覧

小牧山城築城450年記念事業をPRするために、ポスターやチラシ、パンフレットを作成し、情報発信に努めました。

【配布先】

東海3県観光協会、愛知県内道の駅、空港、市内郵便局・金融機関・コンビニ、市民活動団体、市内全区、市内公共施設、名鉄全駅等

小牧山城築城450年記念事業 チラシ・ポスター	ライブ・プロジェクションマッピングショー チラシ・ポスター
	
<p>A 4版チラシ両面：35,000 枚 B 1版ポスター：120 枚 B 2版ポスター：1,300 枚 B 3版ポスター：500 枚</p>	<p>A 4版チラシ両面：30,000 枚 B 1版ポスター：150 枚 B 2版ポスター：300 枚 B 3版ポスター：2,240 枚</p>

信長公 夢・チャレンジ街道解説チラシ	
	
<p>A 3版両面：5,000 枚</p>	

こまき信長まつりチラシ・ポスター



A4版チラシ両面：30,000枚 B1版ポスター：150枚 B2版ポスター：3,000枚

こまき信長まつり公式ガイドブック



A4版12ページ：113,000部【全戸配布】

小牧山城築城450年記念事業 イベントガイド（3月～5月）



A 3版面面：13,000 枚

小牧山城築城450年記念事業 イベントガイド（6月～9月）



A 3版面面：18,000 枚

小牧山城築城450年記念事業 イベントガイド（9月～12月）



A 3版面面：30,000 枚

■ PRグッズ・その他広報ツール

ピンバッジ	うちわ	クリアファイル	ティッシュ
			
【作成数】 12,000 個	【作成数】 5,000 枚	【作成数】 8,000 枚	【作成数】 10,000 個

4連しおり	はっぴ	ビニール袋
		
【作成数】 5,000 枚	【作成数】 100 着	【作成数】 12,000 枚

のぼり	横幕	懸垂幕
 <p>【設置箇所】 小牧山、小牧駅、市道小牧駅前線、市民四季の森、小牧市市民会館、小牧温水プール、市民球場、パークアリーナ小牧等</p> <p>【市民・店舗への貸出枚数】 299枚</p>	 <p>【設置箇所】小牧市役所、市民四季の森、小牧市市民会館、パークアリーナ小牧</p>	 <p>【設置箇所】ラピオ、小牧商工会議所、パークアリーナ小牧</p>

三英傑看板	信長公夢・チャレンジ街道	小牧山城発掘現場状況の説明パネル	名鉄小牧駅前PR塔
			
【設置箇所】 名鉄小牧駅前	【設置箇所】小牧駅前 ～小牧山までの歩道	【設置箇所】小牧山	【設置箇所】 名鉄小牧駅前



四. パブリシティ効果額

■ (1) パブリシティ効果額

小牧山城築城450年記念事業を全国への情報発信の機会ととらえ、様々な手法を用い、メディア等に働きかけを行った結果、**テレビやラジオ、新聞に取り上げられたことによる広告効果額（以下、パブリシティ効果額）は、4億円以上と試算されます。**

■ 試算の概要

対象期間 平成24年4月～26年2月

試算方法 築城450年記念事業が取り上げられた、テレビ、ラジオの放送時間、新聞に掲載された記事の面積を可能な限り調査し、パブリシティ効果額を試算しました。

■ テレビやラジオ・新聞による報道等の量とパブリシティ効果額

	H24.4～H26.2	金額	パブリシティ試算対象件数	総件数
テレビ				
放送時間	144分15秒	307,740,000円	31件	31件
ラジオ				
放送時間	43分	6,600,000円	9件	21件
新聞				
面積	2.6㎡	91,482,770円	151件	156件
合計		405,822,770円	191件	208件

参考資料「放送広告料金表2013」(日本広告業協会)、「新聞広告料金表」(日本広告業協会)

※ パブリシティ効果額試算の対象となる媒体は、テレビ、ラジオ、新聞(42p～44p)です。

※ 番組、紙面等の制作にかかる費用は含まれておりません。

※ テレビ、ラジオ、新聞で試算対象外(広告購入等で市で費用を負担したのものなど)の媒体には、42p～44pの掲載一覧に、* (アスタリスク) マークを付けております。



(2) テレビ、ラジオ、新聞等での掲載一覧

■テレビ

【平成24年】

月 日	媒体社	内 容
8月15日	名古屋テレビ	450年記念事業
11月4日	中京テレビ	450年記念事業
11月14日 11月21日	NHK総合テレビ	小牧山城
11月25日	東海テレビ	小牧山城

【平成25年】

月 日	媒体社	内 容
1月18日	NHK総合テレビ	小牧山城
1月30日	テレビ熊本	450年記念事業
2月24日	東海テレビ	小牧山城
2月27日 3月6日	NHK総合テレビ	小牧山城
2月28日	NHK総合テレビ	小牧山城
3月21日	NHK総合テレビ	小牧山城
4月3日	名古屋テレビ	小牧山さくらまつり
5月31日	名古屋テレビ	ハラ・アジサイまつり
6月1日	名古屋テレビ	ハラ・アジサイまつり
6月12日	名古屋テレビ	ハラ・アジサイまつり
6月21日	中京テレビ	小牧山城
8月3日	テレビ愛知	夢・チャレンジ街道
8月10日	NHK総合テレビ	小牧山城
8月26日	中京テレビ	築城アイドル
8月27日	NHK教育テレビ	小牧山城
9月19日	東海テレビ	小牧ハル
9月21日	中京テレビ	こまき信長まつり 築城アイドル
9月22日	東海テレビ	こまき信長まつり
9月23日	中京テレビ	こまき信長まつり 築城アイドル
9月27日	CBCテレビ	450年記念事業
10月26日	NHK BSプレミアム	築城アイドル
11月15日	名古屋テレビ	いきいきこまき
12月11日	NHK総合テレビ	小牧山城
12月20日	東海テレビ	ライブ・プロジェクショ ンマッピングショー

【平成26年】

月 日	媒体社	内 容
1月17日	テレビ東京	ライブ・プロジェクショ ンマッピングショー

■ラジオ

【平成24年】

月 日	媒体社	内 容
11月2日	岐阜放送	小牧山城
12月14日	岐阜放送 *	450年記念事業
12月17日	FM AICHI *	初日の出を拝む集い
12月21日	岐阜放送 *	450年記念事業
12月24日	FM AICHI *	初日の出を拝む集い
12月29日	CBCラジオ	初日の出を拝む集い

【平成25年】

月 日	媒体社	内 容
1月26日	CBCラジオ	記念講演会「三英傑の甲冑」
3月29日	NHKラジオ第1	小牧山さくらまつり
5月18日	CBCラジオ	歴史館企画展「信長にゆかりの女性たち」
6月8日	東海ラジオ	ハラ・アジサイまつり
8月31日	東海ラジオ *	こまき信長まつり 築城アイドル
9月7日	東海ラジオ *	こまき信長まつり 築城アイドル
9月10日	ラジオサンキュー	こまき信長まつり 築城アイドル
9月13日	NHKラジオ第1	こまき信長まつり 築城アイドル
9月14日	東海ラジオ *	こまき信長まつり 築城アイドル
9月17日	FM AICHI *	こまき信長まつり 築城アイドル
9月18日	FM AICHI *	こまき信長まつり 築城アイドル
9月19日	FM AICHI *	こまき信長まつり 築城アイドル
9月20日	岐阜放送	こまき信長まつり
9月21日	東海ラジオ *	こまき信長まつり 築城アイドル
11月2日	東海ラジオ	小牧駅周辺イルミネー ション ライブ・プロジェクショ ンマッピングショー

■新聞

【平成24年】

月 日	媒体紙	見出し(内容)
7月23日	中部経済新聞	来年、小牧山城の築城450年
8月15日	朝日新聞	登ると分かる戦略拠点(小牧山城)
9月1日	中日新聞	小牧山城築城450年記念定期預金発売
9月1日	中部経済新聞	小牧山城築城450年記念定期預金発売
9月2日	中日新聞	観光の街へ飛躍図る(450年記念事業)
9月5日	中日新聞	築城450年行事を考慮
10月12日	毎日新聞	「戦国の名城」跡を楽しみながら(小牧山城)
11月19日	中部経済新聞	信長の築城450年を前にイベント
12月2日	中日新聞	小牧山城で現地説明会
12月2日	読売新聞	「石垣発見」解説に700人(小牧山城)
12月19日	中日新聞	小牧山城築城450年記念信長口ゴが完成
12月28日	日本経済新聞	あいち戦国姫隊が語る年始(450年記念事業)
12月30日	朝日新聞	初日の出の集い、記念品など提供

【平成25年】

月 日	媒体紙	見出し(内容)
1月3日	中日新聞	初日の出 山頂で歓声
1月3日	毎日新聞	小牧市
1月10日	読売新聞	観光大使に憲俊さん
1月10日	毎日新聞	小牧市観光大使 憲俊さんに委嘱
1月10日	朝日新聞	初代信長役に観光大使委嘱
1月10日	中部経済新聞	小牧山城築城の事業 観光大使に憲俊さん
1月10日	中日新聞	小牧山城450年「信長」アピール
1月17日	中日新聞	小牧山城築城450年
1月17日	読売新聞	信長とのつながり探求(図書館450年記念コーナー)
1月18日	中部経済新聞	築城450年で「楽市楽座」企画
1月27日	中日新聞	築城450年記念で寄付
1月29日	中部経済新聞	信長の夢に思い馳せ 新たなまちづくりにチャレンジ
1月31日	中日新聞	小牧で初の街コン
1月31日	中日新聞	築城450年をPR
2月4日	中部経済新聞	小牧山城築城450年記念事業をPR
2月15日	中日新聞	450年専用ホームページ開設
2月18日	中日新聞	混声合唱団 文楽と共演(450年記念事業紹介)
2月26日	中部経済新聞	天下統一始まりの地めぐり(小牧の観光めぐり)
3月5日	中日新聞	信長の家紋もとにデザイン
3月5日	中日新聞	20日、バスで名所巡り(小牧の観光めぐり)
3月7日	中部経済新聞	小牧山城築城記念イベント冊子作成
3月7日	中日新聞	春の小牧観光巡りツアー
3月16日	中日新聞	小牧山城2段石垣復元へ
3月17日	読売新聞	小牧山さくらまつり
3月20日	中日新聞	9月街コンへ指導申し
3月23日	朝日新聞	さくらまつり28日に前倒し

月 日	媒体紙	見出し(内容)
3月23日	日本経済新聞	桜早咲き準備「困った」(小牧山さくらまつり)
3月26日	読売新聞	東海名所大慌て(小牧山さくらまつり)
3月26日	中日新聞	宝を探せ謎解きゲーム(小牧山城)
3月27日	中日新聞	「まつり」あすから(小牧山さくらまつり)
3月27日	北海道新聞	友好都市・小牧を紹介(450年記念パネル展)
3月30日	中日新聞	小牧でまつり
4月3日	中部経済新聞	信長公の小牧山城築城までを紹介(信長夢・チャレンジ街道)
4月6日	中日新聞	小牧山城450年記念切手シートを贈呈
4月7日	中日新聞	信長好んだ幸若舞 桜吹雪の中で上演
4月12日	中日新聞	桜の酵母使い新酒
4月14日	中日新聞	小牧山城築城450年記念事業小牧山さくらまつり
4月16日	中日新聞	美化活動(小牧山城)
4月18日	中日新聞	小牧再発見(小牧山城)
4月29日	毎日新聞 *	(こまき信長まつり)
5月2日	中日新聞	小牧山城450年で信長ビール発売
5月10日	中日新聞	小牧で宝探しゲーム(信長と連歌師の宝)
5月14日	中日新聞	さくらまつり・写生と俳句
5月17日	中日新聞	信長弁当デビュー
5月21日	中日新聞	「築城アイドル」小牧市が募集
5月24日	中部経済新聞	築城450年事業へ注力
5月24日	中部経済新聞	こまき産業フェスタあす開幕
5月24日	朝日新聞	「築城アイドル」募集!
5月27日	中日新聞	バラ・アジサイまつり
5月27日	中日新聞	歴史と文化の薫るまち(450年記念事業、小牧山城)
5月29日	中日新聞	信長ゆかりの尾張の城を歩く
5月29日	中日新聞	小牧山城450年で記念グッズを発売
6月3日	中日新聞	バラやアジサイ見ごろ楽しんで
6月7日	中日新聞	和洋楽器アンサンブルリベルタ&和太鼓奏者アーク・リー ジョイントコンサート(450年記念事業紹介)
7月4日	中日新聞	「築城アイドル」追加募集
7月13日	中日新聞	9月、小牧で「信長コン」
7月18日	京都新聞	織田 信長公築城450年小牧山城と貸切り二毛乗車体験
7月19日	中日新聞	来月に宝探し第7弾(信長と連歌師の宝)
7月23日	中日新聞	戦国少女隊踊り魅せた
7月26日	中日新聞 *	(小牧平成夏まつり)----- (築城アイドル)
7月27日	中日新聞	夏彩る祭り2つ
7月28日	中日新聞	小牧平成夏まつり始まる
7月30日	中日新聞	小牧・築城アイドルに加川さん
7月30日	中日新聞	小牧市歴史館入館4万5000人を達成
7月30日	中日新聞	「駆狐乱」などに山車行列市長賞
7月30日	中部経済新聞	地元名産へ盛り上げ(こまき信長まつり)
7月31日	中部経済新聞	通年で築城450年イベント

月 日	媒体紙	見出し (内容)
8月1日	中日新聞	小牧のPR大使「築城アイドル」に
8月6日	中日新聞	築城アイドルが小牧市長に抱負
8月22日	読売新聞	燈火ランナーを募集 (小牧山ランドマークフェスタ)
8月28日	中日新聞	築城アイドル「みゆ」「さき」来月始動
8月28日	毎日新聞	小牧「築城アイドル」に
8月29日	中日新聞	信長の築城 漫画で紹介
8月31日	中部経済新聞	知名度アップへ小牧市奮起 (まんが「麒麟の城」、築城アイドル)
8月31日	朝日新聞	築城アイドル見参
9月1日	中日新聞	非行防止啓発へ出陣 (小牧戦国少女隊)
9月1日	朝日新聞	若き信長常識破りの城 (小牧山城)
9月3日	中日新聞	きのうの議会 (450年記念はっぴ)
9月4日	毎日新聞	小牧市が漫画本「麒麟の城」作成
9月5日	中部経済新聞	信長まつりで販売
9月6日	中日新聞	小牧の街着物で歩こう (こまき信長まつり)
9月7日	中部経済新聞	食べて飲んで街歩き (小牧バル)
9月7日	中部経済新聞	築城450年で”ホコ天”拡大 (小牧山城見市)
9月11日	中日新聞	小牧山城の石垣の復元計画
9月12日	中部経済新聞	(小牧バル)
9月13日	中日新聞	小牧タウン (こまき信長まつり、築城アイドル、小牧市民まつり)
9月13日	中日新聞	信長と三姫役決まる 小牧市民まつりパレード
9月15日	中日新聞	観光地化へ両立必要 (小牧山城)
9月15日	中日新聞 *	こまき信長まつり
9月18日	中日新聞	「小牧バル」で食べ歩き
9月19日	中日新聞	女性450人 太鼓で心一つ
9月19日	中日新聞	のびゆく小牧市 祝・小牧山城築城450年
9月19日	朝日新聞	お得に飲み歩き「小牧バル」31店
9月20日	中部経済新聞 *	こまき信長まつり
9月20日	中部経済新聞	こまき信長まつりあす開幕
9月21日	読売新聞 *	こまき信長まつり
9月22日	中日新聞	演舞や楽市楽座
9月23日	中日新聞	勇壮450人太鼓
9月23日	読売新聞	小牧山城の歴史聞き入る (こまき信長夢・フォーラム)
9月24日	中部経済新聞	武将隊演舞が盛り上げ (こまき信長まつり)
9月24日	中日新聞	お茶ゴクリ気分は信長 (小牧山お月見まつり)
10月1日	中日新聞	小牧山城の価値知って
10月5日	中日新聞	「信長の夢」に乾杯 (信長往古の夢)
10月7日	中日新聞	小牧山城で70人撮影会
10月18日	中日新聞	多彩な催しあす開幕 (小牧市民まつり)
10月18日	中日新聞	小牧市民まつり
10月19日	中部経済新聞	秋の小牧で築城450年を祝う
10月20日	中日新聞	秋の宴開幕 (小牧市民まつり)
10月21日	中日新聞	信長アート夢込め完成 (小牧市民まつり)

月 日	媒体紙	見出し (内容)
10月21日	京都新聞	定光寺のもみじ祭と織田信長築城450年小牧山城
10月22日	中日新聞	小牧と信長 知識試そう (こまきこども信長検定)
10月22日	岐阜新聞	信長初の城に最先端技術 (小牧山城)
10月22日	中国新聞	信長初の築城最先端の工夫 (小牧山城)
10月22日	信濃毎日新聞	本格的だった…信長初の城 (小牧山城)
10月22日	熊本日日新聞	近世城郭のルーツ? (小牧山城)
10月23日	大分合同新聞	若き信長 野望の城 (小牧山城)
10月23日	京都新聞	本当はすごい! 信長初の城 (小牧山城)
10月31日	毎日新聞	実はすごい小牧山城
11月6日	中日新聞	小牧市に24万円を東春信用金庫寄付 (450年記念事業に寄付)
11月7日	中日新聞	子の創意観覧楽しく (教育展)
11月8日	東京中日スポーツ	築城アイドル
11月13日	中日新聞	城の移り変わりを写真や史料で紹介 (日本城史展)
11月19日	朝日新聞	小牧山城と信長 点と点 空白紡ぐ
11月20日	東京スポーツ	小牧山城グッズセット
11月22日	中日新聞	ごちそう「小牧山」チャーハン
11月22日	中日新聞	学生らの彫刻作品 小牧山一帯に展示
11月26日	中部経済新聞	「営業部」を新設 地域活性化加速 (450年記念事業)
11月28日	中日新聞	輝く信長小牧に見参 (小牧駅周辺イルミネーション)
11月30日	中日新聞	夢と挑戦 始まりの地 (小牧山城)
12月1日	読売新聞	小牧山城見学とミニ講談楽しむ
12月3日	中日新聞	「信長検定」子ども真剣
12月7日	中日新聞	小牧山山頂 車で送迎
12月10日	朝日新聞	市がブランド作戦 (小牧山城)
12月11日	中部経済新聞	本当はすごい! 信長初の城 (小牧山城)
12月19日	中日新聞	アイドルと鶴匠夢語る (小牧山城築城450年特別講座)
12月20日	中日新聞	小牧山築城 熱い市民劇
12月21日	中日新聞	市民会館の壁に映像 (ライブ・プロジェクションマッピングショー)
12月21日	読売新聞	小牧山 信長時代の栄華 (ライブ・プロジェクションマッピングショー)
12月26日	中日新聞	プロジェクションマッピングショー
12月26日	中日新聞	小牧山城記念事業 歴史的価値市民に浸透
12月26日	中部経済新聞	観光振興で「尾張はひとつ」 (450年記念事業)
12月27日	中日新聞	こまき築城アイドル 卒業

【平成26年】

月 日	媒体紙	見出し (内容)
1月7日	中日新聞	こまき築城アイドル 卒業

■ケーブルテレビ (CCNet)

【平成25年】

月 日	内 容
1月1日	450年記念事業
1月4日	初日の出を拝む集い
1月14日～16日	初日の出を拝む集い
1月28日	歴史館企画展「墨書石垣石材と佐久間氏」
1月31日	450年記念事業 記念講演会「三英傑の甲冑」
2月4日	記念講演会「三英傑の甲冑」
4月3日	小牧山さくらまつり
4月10日	450年記念のほり旗
4月12日	小牧山さくらまつり
4月15日～21日	小牧山さくらまつり
5月13日～19日	450年記念事業 小牧山城
6月1日	小牧山城
6月17日～18日	バラ・アジサイまつり
6月19日～23日	歴史館企画展「信長にゆかりの女性たち」
7月10日	築城アイドル募集
8月5日～11日	小牧平成夏まつり
8月12日	築城アイドル
8月19日～25日	小牧戦国少女隊
8月30日	夢・チャレンジ街道ツアー
9月1日～15日	築城アイドル 小牧山城
9月2日～8日	小牧平成夏まつり
9月23日	築城アイドル
9月24日	築城アイドル
10月18日	築城アイドル
10月28日～11月3日	小牧市民まつり
11月12日	教育展
11月18日～12月1日	こまき信長・夢フォーラム
12月9日～15日	こまきこども信長検定
12月16日～22日	ブロック小牧山城・城下町完成セレモニー
12月23日～29日	450年特別講座
12月30日～31日	こまき信長まつり
12月30日～31日	小牧平成夏まつり
12月30日～31日	小牧市民まつり

【平成26年】

月 日	内 容
1月1日～5日	市民劇
1月6日～12日	ライブ・プロジェクションマッピングショー
2月1日、2日	市民劇
2月3日、6日、10日、17日、20日、24日、27日	ライブ・プロジェクションマッピングショー

■雑誌等

【平成24年】

月 日	媒体誌	見出し(内容)
9月15日	まっふる岐阜	(450年記念事業)
12月11日	東海ウォーカー 25年1月4日号	(初日の出を拝む集い)
12月22日	尾張中央タイムズ	小牧山初日の出を拝む集い
12月25日	Chat1月号	(初日の出を拝む集い)

【平成25年】

月 日	媒体誌	見出し(内容)
1月1日	旬感観光あいち1→2月号	(450年記念事業)
1月31日	Cheek おでかけ春日井小牧守山	小牧山城
2月21日	春びあ東海版2013	(小牧山さくらまつり)
2月22日	大人の桜旅2013	(小牧山さくらまつり)
2月22日	東海ウォーカー増刊号春walker	(小牧山さくらまつり)
2月25日	咲楽	(小牧山さくらまつり)
2月26日	Actiz mi-ru-to	(450年記念事業) 小牧山城
3月1日	東海じゃらん 2013年4月号	(小牧山さくらまつり)
3月1日	旬感観光あいち3→4月号	(小牧山さくらまつり)
3月1日	名鉄ハイキング2013年春 3月-6月	(名鉄ハイキング)
3月15日	Berry coo vol.46	(小牧山さくらまつり)
3月22日	名古屋航路(春・夏号)	(450年記念事業)
3月28日	地域情報誌さんぽみち vol.13 4月号	(小牧山さくらまつり)
3月28日	中日ショッパー	(小牧山さくらまつり)
3月末日	クルマさがそ! 2013年4月号	(小牧山さくらまつり)
4月1日	ガバナンス4月号	(450年記念事業)
4月2日	FUN38号	(450年記念事業)
5月1日	旬感観光あいち5→6月号	(バラ・アジサイまつり) 小牧山城
5月10日	小牧豊山くらしのニュース 5月前半号	桜と信長をPR(小牧城信長麦酒、信長さくらの宴)観光案内所が新しくなりました
5月12日	図説 織田信長の城	(小牧山城)
5月21日	公募ガイド7月号	(築城アイドル募集)
5月21日	サンデー毎日 2013年6月2日号	(こまき信長まつり)
5月24日	小牧豊山くらしのニュース5月後半号	歩いて、学ぶ小牧山城築城450年オリジナルバックチャーム&キーホルダーこまき産業フェスタ「もっと知ろう小牧パワー(観光大使憲俊)小牧山城築城記念のお得を手に入れよう
5月28日	夏びあ東海版	(こまき信長まつり)
6月1日	Audition7月号	(築城アイドル募集)
6月1日	中日ショッパー	「バラ・アジサイまつり」を華やかに開催

月 日	媒体誌	見出し (内容)
6月14日	小牧豊山くらしの ニュース6月前半号	小牧山城築城450年を記念してグッズで小牧をPR
7月1日	旬感観光あいち7→8 月号	(小牧平成夏まつり)
7月12日	歴史人 7月号	「城」のルーツは小牧山城にあり! 歴史を覆す石垣の発見
7月12日	小牧豊山くらしの ニュース7月前半号	小牧の夜のまつり(小牧平成夏まつり、桃花台まつり) 小牧版(街ハル)開催決定!
7月15日	るるぶFREE名古屋夏 秋号	(こまき信長まつり)
7月19日	LAFORET 7月19日 号	(こまき信長まつり)
7月25日	月刊Myu 8月号	(こまき信長まつり) (もののふの絵姿と茶の湯の器)
7月25日	大垣市city版咲楽 2013年8月号	小牧山城築城450年! 信長の天下統一への出発点
7月31日	ガバナンス8月号	(築城アイドル募集)
8月1日	SMBC park sakae	(小牧山城)
8月9日	小牧豊山くらしの ニュース8月前半号	小牧山ランドマークフェスタ参加者募集 記念パネル展
8月17日	中日ホームサービス	石引き体験参加者募集
8月23日	小牧豊山くらしの ニュース8月後半号	築城450年記念ジュエリー第2弾 小牧の街がBar(ハル)になる
8月25日	NaNa9・10月号	(こまき信長まつり) (織田木瓜ペンダントネックレス) (小牧山城)
8月29日	NTPライブ+	(こまき信長まつり)
9月1日	名鉄ハイキング2013 年秋 9月-12月	(名鉄ハイキング)
9月1日	旬感観光あいち9→1 0月号	(こまき信長まつり)
9月13日	小牧豊山くらしの ニュース9月前半号	築城アイドルよろしくね こまき信長まつり 小牧山ランドマークフェスタ2013 小牧ハル 小牧山城見市 織田信長公家紋オリジナルジュエリー 信長餅 着物でまつりに出掛けよう (こまき信長まつり)
9月21日	中日ホームサービス	こまき信長まつり 知っていますか? 「小牧戦国少女隊」 織田信長公家紋オリジナルジュエリー
9月27日	小牧豊山くらしの ニュース9月後半号	小牧山城築城450年記念酒第2弾 小牧の歴史時代小説が発刊 (小説「小牧山城秘話」)

月 日	媒体誌	見出し (内容)
10月11日	小牧豊山くらしの ニュース10月前半号	市民まつり開催 築城アイドル・アシスタント
11月1日	旬感観光あいち11→ 12月号	(ライブ・プロジェクト ソングマッピングショー) (小牧駅周辺イルミネーション)
11月1日	東海じゃらん2013年 12月・2014年1月合 併号	(ライブ・プロジェクト ソングマッピングショー)
11月8日	小牧豊山くらしの ニュース11月前半号	小牧山をガイドボランティアと歩く 信長公ゆかりの城を巡る旅
11月15日	Berry coo vol.50	(小牧駅周辺イルミネーション)
11月20日	名鉄沿線旬ごよみ	(小牧駅周辺イルミネーション)
11月22日	小牧豊山くらしの ニュース11月後半号	地域のために東春信用金庫 (東春信用金庫が450年 記念事業に対して行った寄付について) 歌って踊れるアイドルユニット・小牧戦国少女隊 イルミネーション(小牧駅 周辺イルミネーション)
11月28日	地域情報誌さんぼみち vol.21 12月号	(ライブ・プロジェクト ソングマッピングショー) (小牧駅周辺イルミネーション)
12月6日	歴史発見vol.1	(まんが「麒麟の城」)
12月19日	中日ショッパー	幻想的な3日間! 小牧山城 築城450年記念事業のグ ランドフィナーレ
12月20日	東海ウォーカー 26年1 月号	小牧山城築城450年! 信 長のプロジェクトソングマ ッピングに注目!

■Web サイト、その他

【平成24年】

月 日	媒体名	内 容
9月25日	愛知県ご当地QUOカード「天下の三英傑」	450年記念事業
11月19日	あいちの文化探し隊 キャンペーン	450年記念事業

【平成25年】

月 日	媒体社	内 容
1月18日	人と国土21 1月号	450年記念事業
3月中旬	全国旅そうだんHP	小牧山さくらまつり
4月10日	全国旅そうだんHP	小牧平成夏まつり
5月1日	日本下水道協会誌 5月号	450年記念事業
5月29日	iJAMP時事通信社	築城アイドル募集
6月7日	全国旅そうだんHP	こまき信長まつり
7月1日	連盟だより 2013年7月号	450年記念事業
7月1日	会議所ニュース	450年記念事業
8月1日	広報なんこく	小牧山城 こまき信長まつり
8月2日	ミステリアスあいち	小牧山城
8月5日	全国旅そうだんHP	小牧駅周辺イルミネーション
8月7日	鉄道情報システム	小牧駅周辺イルミネーション
8月30日	名古屋ナビ	築城アイドル
9月10日	全国旅そうだんHP	ライブ・プロジェクション マッピングショー
9月13日	交通新聞社HP	築城アイドル
10月15日	広報はなまき	小牧山城 小牧市民まつり
10月22日	日本経済新聞デジタル メディア	小牧山城
10月22日	Web東奥	小牧山城
10月28日	航空乗継利用促進協議 会Facebook	ライブ・プロジェクション マッピングショー
11月1日	愛知の国保	小牧山城 小牧山薪能 こまき信長まつり ライブ・プロジェクション マッピングショー 築城アイドル
11月中旬	Walkerplus	小牧駅周辺イルミネーション
11月30日	第9回 小牧市招待ジュ ニアサッカー大会パン フレット	ライブ・プロジェクション マッピングショー
12月1日	ちゅ〜び地域とつなが ろう新聞	450年記念事業 ライブ・プロジェクション マッピングショー 築城アイドル
12月1日	広報くまもと	ライブ・プロジェクション マッピングショー
12月1日	愛知県観光ガイド	小牧駅周辺イルミネーション

■小牧商工会議所

【平成24年】

月 日	媒体名	内 容
4月4日	所報つつじ4月号	450年記念事業

【平成25年】

月 日	媒体名	内 容
1月1日	所報つつじ1月号	450年記念事業
3月1日	所報つつじ3月号	450年記念事業
4月8日	所報つつじ4月号	450年記念事業
5月1日	所報つつじ5月号	450年記念事業 小牧平成夏まつり こまき信長まつり 小牧城信長麦酒 信長さくらの宴
6月1日	所報つつじ6月号	宵まち楽市楽座 小牧市民まつり
7月1日	所報つつじ7月号	小牧平成夏まつり こまき信長まつり 小牧城信長麦酒 信長さくらの宴
8月1日	所報つつじ8月号	450年記念事業 小牧バル
9月1日	所報つつじ9月号	こまき信長まつり 小牧バル 織田木瓜ペンダントネックレス
10月1日	所報つつじ10月号	小牧市民まつり 信長往古の夢 日本城史展 小説「小牧山城秘話」
11月2日	所報つつじ11月号	こまき信長まつり 観光特産品開発チャレンジ事 業費補助金
12月1日	所報つつじ12月号	小牧市民まつり 小牧駅周辺イルミネーション



■広報こまき等

【平成24年】

月 日	媒体名	内 容
4月1日	広報こまき 4月1日号	450年PR用予算
5月15日	広報こまき 5月15日号	450年記念事業・協働提案事業
6月1日	広報こまき 6月1日号	小牧駅前観光案内所
7月1日	広報こまき 7月1日号	小牧駅前観光案内所
8月1日	広報こまき 8月1日号	450年記念事業 市民団体チャレンジ事業
8月15日	広報こまき 8月15日号	小牧駅前観光案内所
9月1日	広報こまき 9月1日号	観光まちづくりサポーター養成講座
9月1日	平成24年度後期生涯学習情報ガイド 「こまなび」	450年記念事業 記念講演会「三英傑の甲冑」
9月15日	広報こまき 9月15日号	450年記念事業・協働提案事業
10月1日	広報こまき 10月1日号	450年記念事業 観光特産品開発チャレンジ事業 駆気乱
11月1日	広報こまき 11月1日号	450年記念事業 初笑い狂言会 晴留屋プロジェクト 450年プロジェクト推進室
12月1日	広報こまき 12月1日号	450年記念事業 小牧山城 小牧市歴史館記念入場券
12月15日	広報こまき 12月15日号	450年記念事業 初日の出を拝む集い 記念ロゴマーク 市民団体チャレンジ事業 小牧駅前観光案内所

【平成25年】

月 日	媒体名	内 容
1月1日	広報こまき 1月1日号	450年記念事業 歴史館企画展「墨書石垣石材と佐久間氏」 記念講演会「三英傑の甲冑」 小牧山城
1月15日	広報こまき 1月15日号	450年記念事業
2月1日	広報こまき 2月1日号	観光大使「憲俊」 初日の出を拝む集い 記念パネル展 市民団体チャレンジ事業
2月15日	広報こまき 2月15日号	450年記念事業 初笑い狂言会 450年記念献立給食

月 日	媒体名	内 容
3月1日	広報こまき 3月1日号	小牧山さくらまつり 小牧平成夏まつり 小牧市民まつり 小牧バル 市民劇 こまき信長コン プレイバント 甲冑試着体験講座
3月15日	広報こまき 3月15日号	築城450年記念パネル展 小牧山さくらまつり 写真コンクール
4月1日	広報こまき 4月1日号	450年記念事業 記念ロゴマーク 記念ピンバッジ 観光大使「憲俊」 初日の出を拝む集い 記念パネル展 小牧山さくらまつり 市民団体チャレンジ事業
4月1日	平成25年度前期生涯学習情報ガイド 「こまなび」	450年記念事業 こども遊びウィーク 歴史館企画展「信長ゆかりの女性たち」 小牧市歴史講座「蒼き信長～乱世に生きる～」 市民講座「風雲児信長と小牧山城」 歴史館ジュニア企画展「織田信長ってどんな人」 450年記念コーナー「信長の軌跡、その探求」 音楽鑑賞講座 アンサンブルリベルタコンサート
4月15日	広報こまき 4月15日号	450年記念事業 450年を記念した掛け軸の寄贈 ハラ・アジサイまつり 小牧平成夏まつり 小牧市民まつり 観光特産品開発チャレンジ事業
5月1日	広報こまき 5月1日号	歴史館企画展「信長ゆかりの女性たち」 のほり旗貸出 小牧歴史ガイドボランティアたぶの木会 甲冑試着体験講座
5月15日	広報こまき 5月15日号	小牧平成夏まつり
6月1日	広報こまき 6月1日号	市民団体チャレンジ事業 こども遊びウィーク
6月15日	広報こまき 6月15日号	小牧市歴史講座「蒼き信長～乱世に生きる～」 小牧平成夏まつり 夢・チャレンジ街道

月 日	媒体名	内 容
7月1日	広報こまき 7月1日号	バラ・アジサイまつり 歴史館ジュニア企画展「織田信長ってどんな人」 小牧平成夏まつり 信長夢・チャレンジ街道ツアー 小牧市民まつり 観光特産品開発チャレンジ事業 吉五郎太鼓保存会 桃花台まつり
7月15日	広報こまき 7月15日号	小牧平成夏まつり ライブ・プロジェクトマッ ピングショー
8月1日	広報こまき 8月1日号	こまき信長まつり 小牧山新能 小牧山ランドマークフェスタ みんながかんがえる夢の小牧山 城 小牧山城
8月15日	広報こまき 8月15日号	小牧山新能 市民団体チャレンジ事業 小牧戦国少女隊
9月1日	広報こまき 9月1日号	築城アイドル 小牧平成夏まつり こまき信長まつり 歴史館企画展「織田信長が築い た小牧山城の石垣」 市民団体チャレンジ事業 小牧通訳ボランティア会（小牧 山新能） キモノを着て信長まつりに参加 しましょう（こまき信長まつ り）
9月1日	平成25年度後期生 涯学習情報ガイド 「こまなび」	こまき信長まつり 小牧山新能 こまき信長・夢フォーラム 歴史館企画展「織田信長が築い た小牧山城の石垣」 市民講座「鬼才信長とゆかりの 名将・名人・才女」 市民劇 ライブ・プロジェクトマッ ピングショー 天文講座「信長がみた星空」 （450年記念事業の紹介） 小牧山城
9月15日	広報こまき 9月15日号	こまき信長まつり 小牧市民まつり 小牧駅周辺イルミネーション 観光特産品開発チャレンジ事業
10月1日	広報こまき 10月1日号	築城アイドル 小牧市民まつり ブロック小牧山城・城下町 こまきこども信長検定 晴留屋プロジェクト
10月15日	広報こまき 10月15日号	築城アイドル ノルディックウォーク大会 天文講座「信長がみた星空」 （450年記念事業の紹介） ふらっとみなみ開館5周年記念 イベント（築城アイドル、小牧 戦国少女隊）

月 日	媒体名	内 容
11月1日	広報こまき 11月1日号	こまき信長まつり 教育展 いきいきこまき 小牧駅周辺イルミネーション 彫刻展 市民団体チャレンジ事業 観光特産品開発チャレンジ事業 小牧混声合唱団（450年記念 事業の紹介）
11月15日	広報こまき 11月15日号	市民劇 小牧の観光めぐり 450年特別講座 小牧山城
12月1日	広報こまき 12月1日号	築城アイドル 市民劇 ライブ・プロジェクトマッ ピングショー 晴留屋プロジェクト
12月15日	広報こまき 12月15日号	450年記念事業 市民劇 ライブ・プロジェクトマッ ピングショー 小牧戦国少女隊

【平成26年】

月 日	媒体名	内 容
1月1日	広報こまき 1月1日号	450年記念事業 小牧山城
1月15日	広報こまき 1月15日号	450年記念事業 第6回小牧山城杯中部少年剣道 大会（450年記念事業の紹 介） 小牧山城
2月1日	広報こまき 2月1日号	ライブ・プロジェクトマッ ピングショー





五. 「夢・チャレンジ」の継承と今後の課題

「夢・チャレンジ」の継承と今後の課題

全国的に、人口減少と少子高齢化が同時進行する、いまだかつて経験したことのない時代を迎えています。小牧市においても、国全体より進行は遅い状況ですが、決して例外ではなく人口減少と少子高齢化が進行しており、様々な分野で改革が求められています。

このような状況の中、行政だけでなく地域も含めて、新たな時代に対応できる仕組みづくりが必要であり、また、将来を見据えて、都市間競争に勝ち抜くための施策を積極的に展開していく必要があります。そこで小牧市では、「魅力ある小牧市」「選ばれる小牧市」を目指して、戦略的な地域ブランドづくりを図ることとしました。

地域ブランド戦略のスタートダッシュとして開催した小牧山城築城450年記念事業は、市民、事業者、行政の三者が力を合わせ、それぞれが「夢・チャレンジ」を事業のキーワードとして、基本方針に定めた目標の実現を目指し、事業の推進に努めてまいりました。多くの市民の皆様が記念事業に参加し、郷土への愛着や誇りを感じるきっかけづくりができたこと、様々な情報発信により小牧市の認知度を向上させることができたことなどは記念事業の大きな成果です。

平成25年の記念事業を一過性の成果にとどめることなく、この事業での様々な取組みを今後継承することが、これからの小牧市の「夢・チャレンジ」につながると考えます。

そこで、今後の小牧市の「夢・チャレンジ」に向けて活かしていくために、記念事業の総括として、重要と考えられる事項を次のようにまとめました。

(1) 市民・市民団体の参加拡大 ～「市民参加の継承」～

記念事業の中で、市民・市民団体の参加は大きな柱の1つであり、今回の記念事業では、市民・市民団体が小牧山城築城450年をPRするために自ら行う事業に対しての補助制度を整備するなど、参加しやすい仕組みづくりに取り組みました。

その結果、イベントの出演や運営等に関わるボランティア活動への参加だけでなく、市民・市民団体が自ら事業を企画、実施するなど、様々な形で市民参加が行われ、参加する意識にも変化が見られました。

今後も、市民・市民団体が、市政や地域の課題解決に向けた取り組みに積極的に参加し、市民同士や市民団体の連携の輪を広げ、さらに、様々な分野へ自ら参加を拡大していく必要があると考えます。

(2) 観光推進体制・イベントの充実 ～「市外からの誘客の継承」～

1月1日の「初日の出を拝む集い」をオープニングイベントとして開催し、記念事業の31事業を始め、連携事業、協賛事業など、1年間で196事業を実施しました。

その中でも、メインイベントとして9月に開催しました「こまき信長まつり」は、市民、事業者、行政が一体となって、市外からの誘客に注力し実施しました。例年行っている「小牧山お月見まつり」「小牧山新能」「小牧山ランドマークフェスタ」に、新たに「宵まち楽市楽座」「こまき信長・夢フォーラム」の事業を加え、市民団体等が新たに企画した事業「小牧バル」「小牧山城見市」も合わせて開催され、天候にも恵まれたことから、市内外から多くの皆様にご来場をいただき、楽しんでいただけたと考えます。

また、12月に開催しましたグランドフィナーレのライブ・プロジェクションマッピングショーは、

信長公と小牧山城の関わりをテーマとした迫力ある3D映像と音楽、そして和太鼓やよさこいの市民団体の参加による新しい形のイベントとして、多くの来場者に楽しんでいただきました。また、合わせて実施した情報発信により、来場者以外の多くの方にも小牧市の名前を知っていただく機会となったことも大きな成果であると考えます。

今後、記念事業の意義を踏まえ、継続できる事業は様々な形で継承し、引き続き、市外からの誘客に注力していく必要があると考えます。

（3）小牧の魅力を手感できる環境づくり ～「来訪者へのおもてなしの継承」～

記念事業の実施に合わせ、来訪者が楽しめるような観光に関する環境整備に努めました。

具体的には、小牧駅都市センター内に開設した小牧駅前観光案内所を独立して設置し、来訪者へのおもてなしの場として整備しました。また、まち歩きを楽しむづくりとして、小牧市の玄関口である小牧駅西口に小牧山城にゆかりのある三英傑（信長・秀吉・家康）の看板設置、小牧駅から小牧山までの歩道に信長公の出生から小牧山城築城までの逸話をイラストで表現し敷設した「信長公 夢・チャレンジ街道」の整備、小牧の街中の名所旧跡や小牧山城を案内する観光ボランティアの育成など、小牧市への来訪者に満足していただけるよう、環境整備に努めました。

さらに、観光特産品の開発・改良・販売促進に向けてチャレンジする事業者や小牧市に向けた旅行商品の開発・販売支援を行う事業者に対する補助金制度の整備をいたしました。その結果、事業者によって多くの観光特産品の開発・改良が行われました。しかしながら、来場者アンケートの結果などから、小牧市の観光特産品の購買意識が低いことが挙げられ、観光特産品の認知度向上、販売場所の充実を図ることが課題として考えられます。

今後につきましても、来訪者が楽しめるような観光に関する環境整備、観光特産品のより積極的なPRや販売場所の拡充を図るなど、観光に関する環境づくりに取り組んでいく必要があると考えます。

（4）小牧山の歴史の発信 ～「信長の小牧山城、歴史の継承」～

近世城郭のルーツは織田信長公が築いた安土城とされてきましたが、安土城築城の13年前の永禄6年（1563）に、信長公が美濃攻略の拠点とするために築いた小牧山城から本格的な石垣が発見され、城郭の歴史を塗り替える可能性があるとして城郭研究者などから注目を集めています。しかしながら、多くの方には近世城郭のルーツである小牧山城の歴史的価値が認知されておらず、小牧山城の歴史的価値を広く市内外に周知することが課題でした。

そこで記念事業では、石垣の発掘調査の状況を示した案内板や当時の信長公の居館跡を解説した案内板を設置するなど、来訪者の方に小牧山城の石垣や見所などを分かりやすく伝えるための環境面での整備を行いました。

また、次代を担う子どもたちに向け、信長公の誕生から岐阜城に移るまでわかりやすく解説したまんが織田信長公伝「麒麟の城」の作成やこども遊びウィーク、こまきこども信長検定など、子どもたち自らが様々なことにチャレンジし、新たに発見された小牧山城の歴史や魅力を知り、子どもたちの小牧市の歴史や文化に対する愛着や誇りの醸成に繋げる事業も多く実施しました。

今後は、引き続き小牧山城主郭地区の発掘調査を進め、主郭地区の整備基本計画を見直すとともに、史跡小牧山内に残る市役所旧本庁舎跡地の復元整備、来訪者の利便性を図るためのガイダンス施設などの整備、小牧山城で発掘された出土品の展示などを行う（仮称）史跡センターの整備など、小牧山

の歴史的価値を分かりやすく伝えられるよう施設整備を進め、次代を担う子どもたちに、小牧市の歴史、文化などの様々な魅力を伝え、伝承していくことが必要であると考えます。

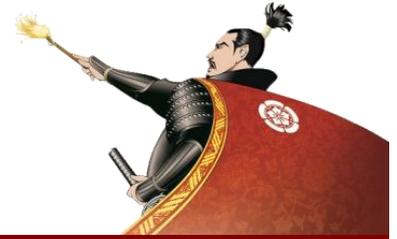
(5) シティプロモーション ～「効果的な情報発信の継承」～

この記念事業は、市民の皆様が小牧市への愛着と誇りを育み、小牧市の認知度を向上させるという地域ブランド戦略・シティプロモーションのスタートです。

情報発信につきましては、市の広報紙やホームページによる発信に加え、フェイスブックなどのSNSの活用、築城アイドルの活用など様々な手法で情報発信を行い、その結果、多くの新聞、テレビ、ラジオなどのメディアに取り上げられました。そのパブリシティ効果額は4億円以上と試算されます。

また、市民・事業者自らの情報発信も積極的に行われ、特に、フェイスブックでは、個人のページに記念事業に関する記事などが掲載され、行政だけでなく、市民一人ひとりが行っていく情報発信も、新たな情報発信の手法であると考えます。

今後につきましても、市民、事業者、行政が一体となり、また、それぞれが主体となって、小牧市の情報を発信することにより、小牧市の認知度向上を目指していきたいと考えます。また、織田信長公が小牧山から天下統一への夢を描きスタートを切ったように、記念事業の意義を継承し、「夢・チャレンジ始まるの地 小牧」を小牧市の目指すまちのイメージであるブランドコンセプトとし、希望と活力あふれるまちづくりを進めてまいります。



六. 資料

■ (1) 来場者アンケート結果

■ 目的

小牧山城築城450年記念事業の実施にあたり、来場者の基本的事項や小牧山城築城450年記念事業の認知度、情報発信度などを調査することにより、今後の観光まちづくりの参考とするためにアンケートを実施しました。

■ 方法 来場者への聞き取りにより実施

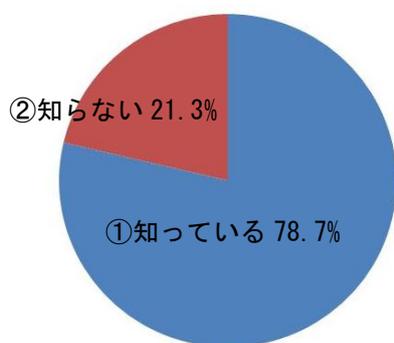
■ 実施イベント（場所）

4月：小牧山さくらまつり（小牧山）、5月：こども遊びウィーク（小牧山）、6月：バラ・アジサイまつり（市民四季の森）、7月：小牧平成夏まつり（小牧市市民会館～小牧駅）、9月：こまき信長まつり（小牧山ほか）、10月：小牧市民まつり（小牧山ほか）、12月：ライブ・プロジェクトンマッピングショー（小牧市市民会館、小牧駅）

■ 実施総数 1,686人

■ アンケート設問ごとの結果と考察

【問1】小牧山城築城450年記念事業を知っていますか。

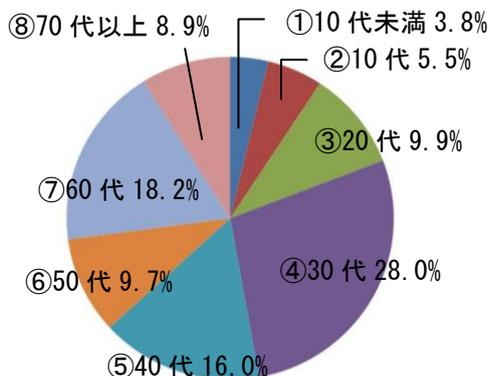


【回答者数 1,660人】

- ①知っている 1,306人
- ②知らない 354人

- ・ 450年記念事業については、78.7%が知っていると回答している。
- ・ 市内在住の方の認知度は91.2%、市外在住の方は、60.9%となっており、市内在住の認知度は、高い数値となったが、市外在住者の認知は約60%にとどまった。

【問2】あなたの年齢を教えてください。

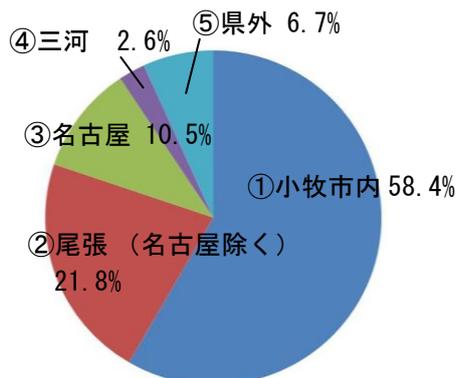


【回答者数 1,652人】

- | | |
|------------|-------------|
| ①10代未満 62人 | ②10代 91人 |
| ③20代 164人 | ④30代 462人 |
| ⑤40代 264人 | ⑥50代 161人 |
| ⑦60代 301人 | ⑧70代以上 147人 |

来場者の年代は、もっとも多かったのが、30代が28%を占め、ついで60代が18.2%、40代が16%となっている。来場者の約半数が30代、40代であった。

【問3】どこからお越しになりましたか。



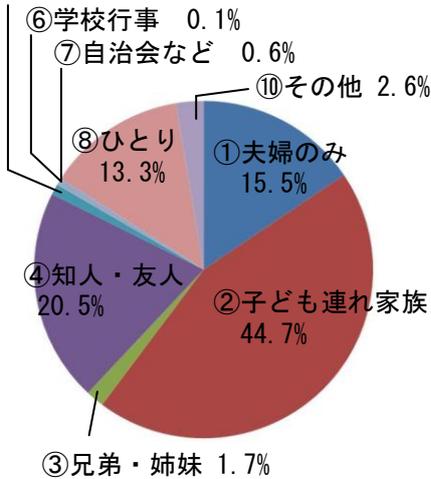
【回答者数 1,679人】

- | | |
|------------|-----------------|
| ①小牧市内 980人 | ②尾張（名古屋除く） 366人 |
| ③名古屋 176人 | ④三河 43人 |
| ⑤県外 114人 | |

- ・ 小牧市内58.4%、尾張地域（名古屋のぞく）21.8%、名古屋が10.5%の順であり、県外6.7%となっており、市内が過半数を占めるものの、市外からの来訪者も40%を越えている。
- ・ 県外は、岐阜県、静岡県、東京都、千葉県、埼玉県、栃木県などからの来場者があった。

【問4】どなたと来訪されましたか。

⑤会社仲間 1.0%

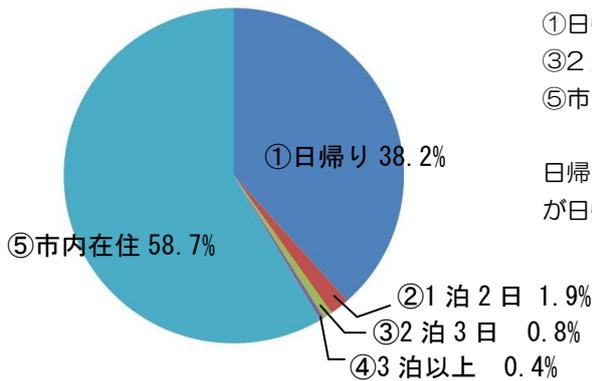


【回答者数 1,676 人】

①夫婦のみ 260 人 ②子ども連れ家族 749 人
 ③兄弟・姉妹 29 人 ④知人・友人 343 人
 ⑤会社仲間 17 人 ⑥学校行事 1 人
 ⑦自治会など 10 人 ⑧ひとり 223 人
 ⑨ツアー 0 人 ⑩その他 44 人

- ・ 子ども連れ家族と答えた方が、44.7%と圧倒的に多く、ついで、知人・友人が20.5%となっている。
- ・ 問2と問4の集計からは30代・40代の子ども連れ家族が一番多く22.8%（384件）となっている。

【問5】旅行形態を教えてください。

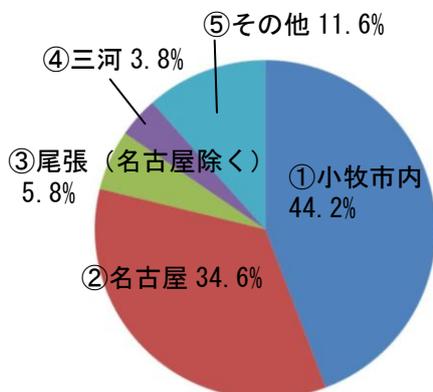


【回答者数 1,663 人】

①日帰り 636 人 ②1泊2日 31 人
 ③2泊3日 14 人 ④3泊以上 7 人
 ⑤市内在住 975 人

日帰りが38.2%と多く、宿泊者は3.1%にとどまった。多くの方が日帰り圏内から来訪であった。

【問6】問5で宿泊と答えた方のうち、宿泊地を教えてください。

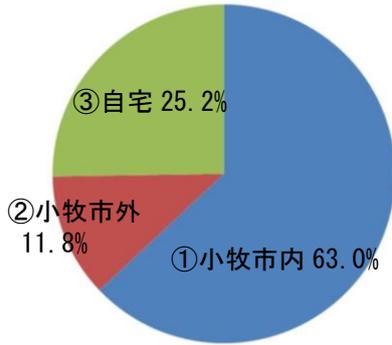


【回答者数 52 人】

①小牧市内 23 人
 ②名古屋 18 人
 ③尾張（名古屋除く） 3 人
 ④三河 2 人
 ⑤その他 6 人

宿泊者は少ないものの、そのうち小牧市内が44.2%、ついで名古屋が34.6%となっている。

【問7】今日はどこで食事をしますか。(市外の方のみ)

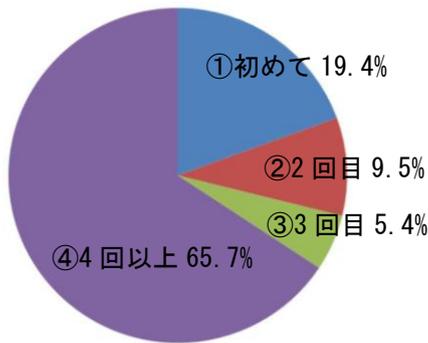


【回答者数 602 人】

- ①小牧市内 379 人
- ②小牧市外 71 人
- ③自宅 152 人

市外から来訪された方のうち 63.0%が小牧市内で食事をされている。

【問8】小牧市への来訪回数を教えてください。(市外の方のみ)

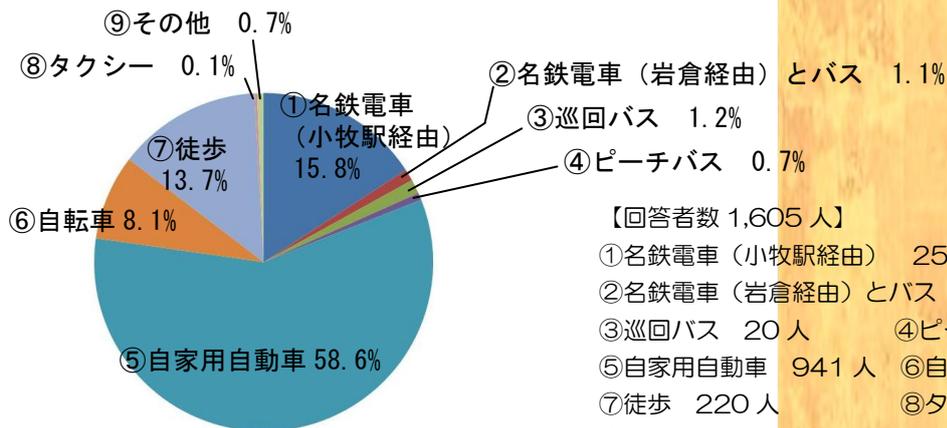


【回答者数 644 人】

- ①初めて 125 人
- ②2回目 61 人
- ③3回目 35 人
- ④4回以上 423 人

4回以上と答えた方が 65.7%、初めてが 19.4%、2回目が 9.5%となった。多くの方が小牧市へのリピーターであることがわかったが、初めての方が 19.4%あり、450年記念事業における情報発信の成果であると考えられる。

【問9】今回、会場へ来た交通手段はなんですか。

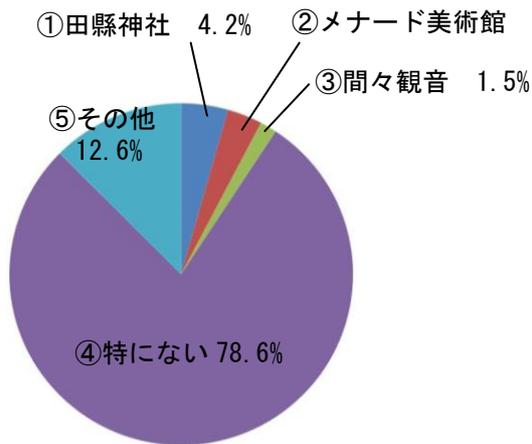


【回答者数 1,605 人】

- ①名鉄電車 (小牧駅経由) 253 人
- ②名鉄電車 (岩倉経由) とバス 18 人
- ③巡回バス 20 人
- ④ピーチバス 11 人
- ⑤自家用自動車 941 人
- ⑥自転車 130 人
- ⑦徒歩 220 人
- ⑧タクシー 2 人
- ⑨その他 10 人

- ・ 来場時の交通手段としては、一番多かったのが自家用自動車で、全体の 58.6%を占め、次に多いのが、自転車・徒歩 21.8%、名鉄電車利用者が 16.9%となった。
- ・ 問3、問5、問9の集計からは、市内の方は、自家用自動車 52.6%、自転車・徒歩 36.3%となっている。また、市外の方は、自家用自動車 65.6%、ついで名鉄電車が 29.7%となっており、日帰り圏内の 30代・40代の家族連れが、自家用自動車で来訪したケースが多かった。

【問10】今回、会場以外、小牧市内で立ち寄るところはありますか。

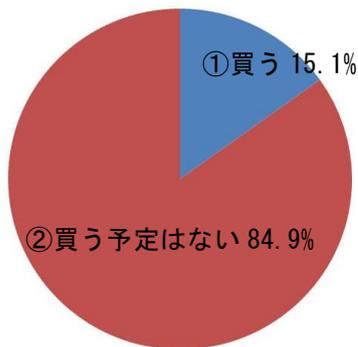


【回答者数 1,514 人】

- ①田縣神社 64 人
- ②メナード美術館 47 人
- ③間々観音 23 人
- ④特にない 1,190 人
- ⑤その他 190 人

イベント会場以外に立ち寄る場所があるかの問に対し、特になしと答えた方が78.6%であり、イベントを目的とする来場者が多数を占めた。

【問11】小牧市でおみやげ物を買いますか。

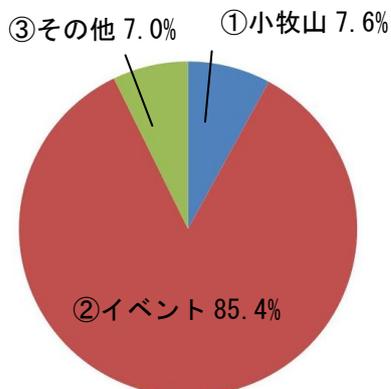


【回答者数 1,377 人】

- ①買う 208 人
- ②買う予定はない 1,169 人

84.9%がおみやげを買う予定はないと答え、小牧市の観光産品に対する認識の低いことがわかった。

【問12】今回、小牧市来訪の目的はなんですか。

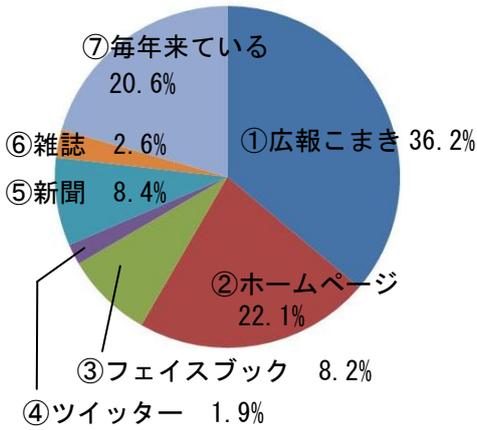


【回答者数 1,570 人】

- ①小牧山 120 人
- ②イベント 1340 人
- ③その他 110 人

来場の目的の問いに対しては、イベントと答えた方が85.4%であった。

【問13】今回、イベントを何で知りましたか



【回答者数 1,436 人】

- ① 広報こまき 520 人
- ② ホームページ 317 人
- ③ フェイスブック 118 人
- ④ ツイッター 28 人
- ⑤ 新聞 120 人
- ⑥ 雑誌 38 人
- ⑦ 毎年来ている 295 人

- ・ 広報「こまき」が 36.2%、ついでホームページが 22.1%となり、SNS（フェイスブック・ツイッター）は、10.1%であり、SNSもひとつの情報発信手段として有効なPR手段であることがわかった。（参考：ホームページ閲覧者数 138,059、フェイスブック閲覧者数 103,005 期間：H25.2月～12月）
- ・ 問3と問13の集計では、市内の方は、広報が 54.6%となり、主な情報収集手段となっているが、市外の方は、ホームページが 42.8%、新聞が 15.9%、フェイスブック・ツイッターが 16.7%となった。市外の方は、約 50%の方がホームページやSNSを利用している。

【問14】また小牧市に来たいと思いますか。（市外の方のみ）

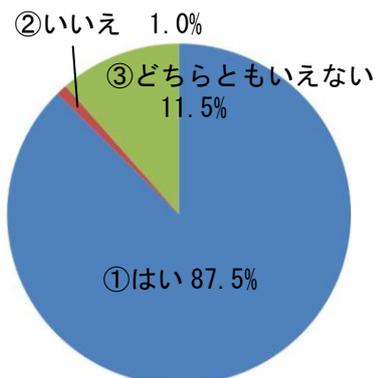


【回答者数 679 人】

- ① はい 601 人
- ② いいえ 8 人
- ③ どちらともいえない 70 人

市外の方に小牧の印象を聞いたところ、88.5%の方が小牧市にまた来たいと答えている。

【問15】「小牧市っていいな」とおもいますか。（市内の方のみ）



【回答者数 976 人】

- ① はい 854 人
- ② いいえ 10 人
- ③ どちらともいえない 112 人

市内の方に小牧の印象を聞いたところ、87.5%の方が小牧市をいいと答え、問14の集計からも市外・市内の方とともに、約 90%の方が小牧市に好印象を持っている。

■アンケートの総括

平成25年(2013年)の小牧山城築城450年記念事業の開催に併せて、こまき信長まつりなどの記念事業の参加者に対し、聞き取りによるアンケートを実施いたしました。

小牧山城築城450年記念事業につきましては、イベント全体で78.7%の方が知っていると回答しており、市内在住の方は、91.2%、市外在住の方は、60.9%となっており、市内在住者の認知度は高い数値となりました。また、来場者の年代は、30代が最も多く、次に60代となっており、30代の子ども連れ家族や60代のご夫婦や友人などが多く参加されました。

次に、来場者の居住地ですが、イベント全体としては、市内58.4%、市外41.6%となっています。市外からの来場率の高いイベントは、バラ・アジサイまつり(58.9%)こまき信長まつり(56.3%)、ライブ・プロジェクションマッピングショー(43.5%)、小牧山さくらまつり(32.6%)、小牧市民まつり(26.3%)、こども遊びウィーク(24.0%)、小牧平成夏まつり(21.5%)の順となり、450年記念事業として実施したイベントに市外からの来場率が高くなっています。これは、従来のPR方法に加え、新たな取り組みとして、東海3県の観光協会や道の駅、FDAの就航先の自治体などへ幅広くPRポスター、チラシを配布し、新聞、雑誌等を活用した情報発信を行った成果であると考えられます。

イベント会場への来場手段といたしましては、自家用自動車を利用する割合が、イベント全体で58.6%と高く、大規模なイベントを開催する場合、駐車場の確保が課題となることが考えられます。一方、名鉄電車利用者は、全体で16.9%となっておりますが、公共交通機関の利用を呼びかけたライブ・プロジェクションマッピングショーでは、名鉄電車利用者は32.8%、自家用自動車の利用者は43.8%となっております。また、市内からの参加者は、自家用自動車を使う割合は53.2%と高い割合ですが、市外からの参加者は、名鉄電車利用者は27.2%となっており、PR方法によって、公共交通の利用を促すことができることがわかりました。

旅行形態については、市外からの来場者では日帰りが一番多く、38.2%となり、宿泊者は、3.1%に留まりました。また、イベント会場以外に立ち寄る場所があるかとの問いに対し、特になしと答えた方が78.6%となっており、宿泊客の確保については、イベントPRと合わせて、市内または周辺の観光施設と連携した形の旅行コースの造成などが必要であると考えられます。また、小牧市でおみやげ物を買いますかとの問いに対し、84.9%の方が買う予定はないと答えており、魅力ある観光商品の開発や販売場所の確保、PRが課題であることが伺えます。

イベントを何で知りましたかとの問いに対し、広報「こまき」が36.2%、ついで、ホームページが22.1%、SNS(フェイスブック、ツイッター)が10.1%となっており、市内の方は、広報が54.6%となり、主な情報収集手段となっています。市外の方は、ホームページが42.8%、新聞が15.9%、SNSが16.7%という結果となり、市外からの参加者には、ホームページやSNSが有効な手段であることが確認できました。

最後に、市外在住の方に小牧の印象を尋ねたところ、88.5%の方がまた小牧に來たいと回答され、市内在住の方は87.5%の方が「小牧市っていいな」と回答されています。今後も引き続き、市内の方には小牧市にさらなる誇りと愛着をもていただき、市外の方には小牧市の認知度を高められるよう小牧山城築城450年記念事業の成果を継承していきたいと考えております。

（２）観光入込客数

■調査対象

以下の３つの要件を満たす観光地点。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを対象として取り扱うものとする。

- ① 非日常利用が多い（月１回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。
 - ② 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
 - ③ 前年の観光入込客数が年間１万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が５千人以上であること。
- ※ 愛知県では、県内の観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光客入込数）及び宿泊施設の利用者数を把握し、観光行政を推進する上での基礎資料とすることを目的として実施。

■小牧市における調査対象地点

対象地点	H24(単位:人)	H25(単位:人)	比較
小牧市歴史館	49,797	78,317	157.3%
メナード美術館	65,226	55,511	85.1%
小牧市温水プール	234,120	233,788	99.9%
パークアリーナ小牧	656,127	657,787	100.3%
田縣神社	720,000	820,000	113.9%
市民四季の森	194,126	201,091	103.6%
小牧山さくらまつり	41,000	82,656	201.6%
こまき産業フェスタ	22,000	21,000	95.5%
小牧平成夏まつり	91,000	95,000	104.4%
こまき信長まつり(小牧山お月見まつり含む)	22,500	125,000	555.6%
小牧市民まつり	200,000	100,000	50.0%
いきいきこまき	23,000	52,000	226.1%
計	2,318,896	2,522,150	108.8%

※小牧市民まつりについては、２日目が雨天のため屋外イベントが全て中止となった。

■期間 平成24年1月～平成25年12月

（3）小牧市小牧山城築城450年記念市民団体チャレンジ事業費補助金交付要綱

（通則）

第1条 小牧市小牧山城築城450年記念市民団体チャレンジ事業費補助金（以下「補助金」という。）の交付については、市費補助金等の予算執行に関する規則（昭和34年小牧市規則第3号。以下「規則」という。）の定めによるほか、この要綱の定めるところによる。

（交付の目的）

第2条 この要綱は、織田信長公が永禄6年（西暦1563年）に小牧山城を築城し、平成25年で築城450年となることを受け、築城450年を盛り上げる事業を行うものに対してその事業の経費の一部を補助することにより、魅力的なまちづくりと市民の郷土に対する愛着を高めることを目的とする。

（補助対象者及び補助対象事業）

第3条 補助金の交付の対象となるもの（以下「補助対象者」という。）は、別に定める築城450年をテーマとした事業を行う団体の募集に応募し、織田信長公小牧山城築城450年記念事業実行委員会の審査に合格したものとし、補助金の交付の対象となる事業（以下「補助対象事業」という。）は、当該合格したものが提案した事業とする。

（補助対象経費等）

第4条 市長は、予算の範囲内において補助金を交付するものとし、補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）、補助率及び補助限度額は、別表のとおりとする。

（交付の申請）

第5条 補助金の交付を受けようとするもの（以下「申請者」という。）は、小牧市小牧山城築城450年記念市民団体チャレンジ事業費補助金交付申請書（様式第1。以下「申請書」という。）を市長に提出しなければならない。

（交付の決定の通知）

第6条 規則第7条の規定による補助金の交付の決定の通知は、小牧市小牧山城築城450年記念市民団体チャレンジ事業費補助金交付決定通知書（様式第2。以下「決定通知書」という。）による。

（申請の取下げ）

第7条 規則第8条第1項に規定する申請の取下げをしようとするものは、決定通知書を受け取った日から起算して15日以内にその旨を記載した書面を市長に提出しなければならない。

2 前項に定める期間内に申請の取下げがなかった場合は、申請者には、補助事業を行う義務が発生するも

のとする。

（事業計画の変更等）

第8条 補助金の交付の決定を受けたもの（以下「補助事業者」という。）は、補助事業に要する経費の配分若しくは補助事業の内容を変更し、又は補助事業を中止し、若しくは廃止しようとするときは、小牧市小牧山城築城450年記念市民団体チャレンジ事業事業計画変更承認申請書（様式第3）を市長に提出し、その承認を受けなければならない。

2 第7条の規定は、前項の申請があった場合に準用する。この場合において、第6条中「小牧市小牧山城築城450年記念市民団体チャレンジ事業費補助金交付決定通知書（様式第2）」とあるのは、「小牧市小牧山城築城450年記念市民団体チャレンジ事業事業計画変更交付決定通知書（様式第4）」と読み替えるものとする。

（実績報告）

第9条 規則第12条の規定による実績報告は、小牧市小牧山城築城450年記念市民団体チャレンジ事業実績報告書（様式第5）による。

（額の確定の通知）

第10条 規則第13条の規定による補助金の額の確定の通知は、小牧市小牧山城築城450年記念市民団体チャレンジ事業費補助金確定通知書（様式第6。以下「確定通知書」という。）による。

（補助金の交付）

第11条 補助事業者は、確定通知書を受け取った日から起算して20日以内に、小牧市小牧山城築城450年記念市民団体チャレンジ事業費補助金請求書（様式第7。以下「請求書」という。）を市長に提出しなければならない。

2 補助金は、請求書を受け取った日から起算して30日以内に交付するものとする。

（雑則）

第12条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成24年10月23日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年6月19日から施行する。

（４）小牧市観光特産品開発チャレンジ事業費補助金交付要綱

（通則）

第1条 小牧市観光特産品開発チャレンジ事業費補助金（以下「補助金」という。）の交付については、市費補助金等の予算執行に関する規則（昭和34年小牧市規則第3号。以下「規則」という。）の定めによるほか、この要綱の定めるところによる。

（交付の目的）

第2条 この要綱は、織田信長公が永禄6年（西暦1563年）に小牧山城を築城し、平成25年で築城450年となることを受け、市の観光特産品の開発、改良又は販路拡大に向けてチャレンジする者に対して、必要な資金の一部を補助することにより、市の歴史、文化及び産業をいかした観光のまちづくりを推進することを目的とする。

（定義）

第3条 この要綱において「観光特産品」とは、小牧市で生産する原材料を加工した商品又は小牧市の観光の魅力を発信できる商品又は商品名をいう。

（補助対象者）

第4条 補助金の交付の対象となる者（以下「補助対象者」という。）は、次のいずれにも該当するものとする。ただし、補助対象者が法人の場合は、第4号及び第5号の規定は、当該法人の代表者及び役員に適用する。

- (1) 1年以上継続して同一事業を行っている者
- (2) 個人にあっては、市内に住所を有し、法人にあっては、市内に事業所を有する者
- (3) 事業を継続して行うことができると認められる者
- (4) 小牧市暴力団排除条例（平成24年小牧市条例第16号）第2条第2号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）でない者
- (5) 小牧市暴力団排除条例第2条第1号に規定する暴力団又は暴力団員と密接な関係を有するものでない者
- (6) 市税の滞納のない者

（補助対象事業等）

第5条 市長は、予算の範囲内において補助金を交付するものとし、補助金の交付の対象となる事業（以下「補助対象事業」という。）、補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）及びその内容、補助率並びに補助限度額は、別表のとおりとする。

（交付の申請）

第6条 補助金の交付を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、小牧市観光特産品開発チャレンジ

事業費補助金交付申請書（様式第1。以下「申請書」という。）を、次に掲げる書類を添えて市長が定める日までに市長に提出しなければならない。

- (1) 小牧市観光特産品開発チャレンジ事業計画書（様式第2）
- (2) 収支計画書（様式第3）
- (3) 市税調査に係る個人情報取扱同意書（様式第4）
- (4) 法人登記簿謄本又は履歴事項全部証明書（3月以内に発行されたものに限る。）
- (5) 決算書（個人の場合は確定申告書）の写し（直近のもの）
- (6) その他市長が必要と認める書類

（交付の決定）

第7条 市長は、前条に規定する申請書を受理したときは、第16条に規定する小牧市観光特産品開発チャレンジ事業費補助金審査委員会の審査を経て、補助金の交付の決定をするものとする。この場合において、補助金の交付は、一の観光特産品につき1回を限度とし、一の申請者に対し2品目を限度とする。

（交付決定の通知）

第8条 規則第7条の規定による補助金の交付の決定の通知は、小牧市観光特産品開発チャレンジ事業費補助金交付決定通知書（様式第5。以下「決定通知書」という。）による。

（申請の取下げ）

第9条 規則第8条第1項に規定する申請の取下げをしようとする者は、決定通知書を受け取った日から起算して15日以内にその旨を記載した書面を市長に提出しなければならない。

2 前項に定める期間内に申請の取下げがなかった場合は、申請者には、補助事業を行う義務が発生するものとする。

（事業計画の変更等）

第10条 補助金の交付の決定を受けた者（以下「補助事業者」という。）は、補助事業に要する経費の配分若しくは補助事業の内容を変更し、又は補助事業を中止し、若しくは廃止しようとするときは、小牧市観光特産品開発チャレンジ事業計画変更等承認申請書（様式第6）を市長に提出し、その承認を受けなければならない。

2 規則第5条から第7条までの規定は、前項の申請があった場合に準用する。この場合において、第7条中「補助金交付決定通知書（様式第2）」とあるのは、「小牧市観光特産品開発チャレンジ事業費補助金変更交付決定通知書（様式第7）」と読み替えるものとする。

(実績報告)

第11条 規則第12条の規定による実績報告は、小牧市観光特産品開発チャレンジ事業費補助金実績報告書(様式第8)に、次の書類を添えて提出するものとする。

- (1) 事業収支明細書(様式第9)
- (2) 経費の支払いを証する書類の写し
- (3) 事業の実施過程を記録した書類(写真等)
- (4) その他市長が必要と認める書類

(額の確定の通知)

第12条 規則第13条の規定による補助金の額の確定の通知は、小牧市観光特産品開発チャレンジ事業費補助金確定通知書(様式第10。以下「確定通知書」という。)による。

(補助金の交付)

第13条 補助事業者は、確定通知書を受け取った日から起算して20日以内に小牧市観光特産品開発チャレンジ事業費補助金請求書(様式第11)を市長に提出しなければならない。

(交付決定の取消し及び補助金の返還)

第14条 市長は、規則第15条及び第16条の規定によるほか、補助事業者が第4条各号のいずれかに該当しないとき又は次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、補助金の交付の決定の全部又は一部を取り消すものとする。

- (1) 虚偽その他不正な手段により、補助金の交付の決定を受けたとき。
- (2) 市長が補助金を交付することが不適切であると認めるとき。

(審査委員会)

第15条 観光特産品の審査及び補助金の交付の適正を期すため、小牧市観光特産品開発チャレンジ事業費補助金審査委員会(以下「審査委員会」という。)を置く。

(審査委員会の所掌事務)

第16条 審査委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 観光特産品の評価基準の設定に関すること。
- (2) 観光特産品の審査に関すること。

(審査委員会の組織等)

第17条 審査委員会は、委員長及び委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる組織に属する者のうちから市長が任命し、又は委嘱する。

- (1) 市民産業部農政課
- (2) 市民産業部商工観光課
- (3) 小牧市教育委員会事務局文化振興課
- (4) 小牧商工会議所

(5) 小牧市観光協会

(6) 愛知県観光土産品協会

- 3 委員長は、市民産業部次長をもって充てる。
- 4 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 5 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。
- 6 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(審査委員会の会議)

第18条 審査委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が必要に応じて招集し、委員長が議長となる。

- 2 審査委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。
- 3 審査委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 委員長は、必要があると認めるときは、議事に関係のある者に対して、出席を求め、その説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第19条 審査委員会の庶務は、市民産業部小牧山城450年プロジェクト推進室において処理する。

(雑則)

第20条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成24年10月1日から施行する。
- 2 この要綱は、平成26年3月31日限りその効力を失う。

附 則

この要綱は、平成24年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年6月19日から施行する。

(5) 小牧市観光旅行商品開発事業費補助金交付要綱

第1条 小牧市観光旅行商品開発事業費補助金（以下「補助金」という。）の交付については、市費補助金等の予算執行に関する規則（昭和34年小牧市規則第3号。以下「規則」という。）の定めによるほか、この要綱の定めるところによる。

（交付の目的）

第2条 この要綱は、織田信長公が永禄6年（西暦1563年）に小牧山城を築城し、平成25年で450年となることを受け、築城450年をテーマに小牧市内の観光地を巡る観光旅行商品を開発し、一般に販売又は実施する旅行者等に対し、事業費の一部を補助することにより、観光まちづくりを推進することを目的とする。

（補助対象者）

第3条 補助金の交付の対象となる者は、旅行業又は旅行者代理業を営む者（旅行業法（昭和27年法律第239号）第5条の登録を受けた者に限る。（以下「旅行者等」という。）とする。

（補助対象事業）

第4条 補助金の交付の対象となる事業（以下「補助対象事業」という）は、次のいずれにも該当する旅行商品を開発し、かつ一般に販売し、又は開発された旅行商品を一般に販売する事業とする。

- (1) 一般に販売する募集型企画旅行であること。
- (2) 小牧山城築城450年をテーマとし、旅行商品の名称に織田信長、築城450年及び小牧山城を使用すること。
- (3) 旅行商品の行程において、史跡小牧山及び小牧市観光協会の発行する観光パンフレットに記載された観光施設等のうち1箇所以上を含めること。
- (4) 出発地が小牧市外であること。
- (5) 旅行商品の行程において、小牧市内の飲食店で昼食又は夕食を摂ること。
- (6) 平成25年1月1日以降に始まり、平成25年12月31日までに完了する旅行とすること。
- (7) 旅行商品の販売に関しては、旅行者等の店頭及びホームページ、パンフレット、又は中部圏域以上を販売の対象としている新聞に広告を掲載すること。

（補助対象経費等）

第5条 市長は、予算の範囲内において補助金を交付するものとし、補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）、補助率及び補助限度額は、別表のとおりとする。

（交付の申請）

第6条 補助金の交付を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、小牧市観光旅行商品開発事業費補助金交付申請書（様式第1。以下「申請書」という。）に、次に掲げる書類を添えて提出しなければならない。

- (1) 小牧市観光旅行商品開発事業計画書（様式第2）
- (2) 収支予算書（様式第3）
- (3) 旅行業法第12条の9第1項に規定する標識の写し
- (4) その他市長が必要と認める書類

（交付の決定）

第7条 市長は、前条に規定する申請書を受理したときは、当該申請に係る書類を審査し、補助金を交付すべきと認めるときは、補助金の交付を決定するものとする。

（交付の通知）

第8条 規則第7条に規定する補助金の交付の決定の通知は、小牧市観光旅行商品開発事業費補助金交付決定通知書（様式第4。以下「決定通知書」という。）による。

（申請の取下げ）

第9条 規則第8条第1項に規定する申請の取下げをしようとする者は、決定通知書を受け取った日から起算して15日以内にその旨を記載した書面を市長に提出しなければならない。

2 前項に定める期間内に申請の取下げがなかった場合は、申請者には、補助事業を行う義務が発生するものとする。

（事業計画の変更等）

第10条 補助金の交付の決定を受けた者（以下「補助事業者」という。）は、補助事業に要する経費の配分若しくは補助事業の内容を変更し、又は補助事業を中止し、若しくは廃止しようとするときは、小牧市観光旅行商品開発事業計画変更等承認申請書（様式第5）を市長に提出し、その承認を受けなければならない。

2 第7条及び第8条の規定は、前項の申請があった場合に準用する。この場合において、第8条中「小牧市観光旅行商品開発事業費補助金交付決定通知書（様式第4）」とあるのは、「小牧市観光旅行商品開発事業費補助金変更交付決定通知書（様式第6）」と読み替えるものとする。

（実績報告）

第11条 規則第12条の規定による実績報告は、小牧市観光旅行商品開発事業費補助金実績報告書（様式第7）に、次の書類を添えて提出するものとする。

- (1) 旅行行程表

- (2) 事業収支明細書（様式第8）
- (3) 参加者募集パンフレット等旅行内容が記載された書類一式
- (4) 事業の過程を記録した書類（写真等）
- (5) その他市長が特に必要と認める書類

（額の確定の通知）

第12条 規則第13条の規定による補助金の額の確定の通知は、小牧市観光旅行商品開発事業費補助金確定通知書（様式第9。以下「確定通知書」という。）による。

（補助金の交付）

第13条 補助事業者は、確定通知書を受け取った日から起算して20日以内に小牧市観光旅行商品開発事業費補助金請求書（様式第10。）を市長に提出しなければならない。

（交付決定の取消し及び補助金の返還）

第14条 市長は、規則第15条及び第16条の規定によるほか、補助事業者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、補助金の交付の決定の全部又は一部を取り消すものとする。

- (1) 虚偽その他不正な手段により、補助金の交付の決定を受けたとき。
- (2) 市長が補助金を交付することが不適切であると認めるとき。

附 則

- 1 この要綱は、平成24年10月1日から施行する。
- 2 この要綱は平成26年3月31日限りその効力を失う。

附 則

- 1 この要綱は、平成25年6月19日から施行する。

（６）織田信長公小牧山城築城 450 年記念事業認定基準

第1 この基準は織田信長公小牧山城築城 450 年記念事業の推進に向け、基本方針に定める市民・事業者と観光まちづくりに向けた協働を行うため、記念事業等の認定基準を定めるものである。

第2 織田信長公小牧山城築城 450 年記念事業に認定された場合の認定の区分、認定の効果は別表 1 のとおり定めることとする。

2 第1項の認定により使用可能となるロゴマーク・イラスト・キャッチフレーズは、別紙のとおり定めることとする。

第3 認定を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、織田信長公小牧山城築城 450 年記念事業認定申請書（様式 1。以下「申請書」という。）を市長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、次のいずれかに該当する場合は、この限りではない。

- (1) 報道機関が報道又は広報の目的で使用するとき。
- (2) その他市長が適当と認めたとき。

第4 市長は、前条の規定による申請があった場合は、その内容を審査し、適当と認めたときは、織田信長公小牧山城築城 450 年記念事業の認定（以下「認定」という。）をし、その旨を織田信長公小牧山城築城 450 年記念事業認定審査結果通知書（様式 2）により申請者に通知するものとする。

2 市長は、前項の規定による許可をする場合において、必要な条件を付することができるものとする。

第5 市長は、申請された内容が次のいずれかに該当する場合は、許可しないこととし、その旨及びその理由を織田信長公小牧山城築城 450 年記念事業認定審査結果通知書（様式 3）により申請者に通知するものとする。

- (1) 法令及び公序良俗に反し、又は反するおそれがあるとき。
- (2) 特定の政治、思想もしくは宗教の活動に利用し、又は利用するおそれがあるとき。
- (3) 不当な利益を得るために利用し、又は利用するおそれがあるとき。
- (4) 自己の商標、意匠等として独占的に使用し、又は使用するおそれがあるとき。
- (5) 市の品位を傷つけ、または傷つけるおそれがあるとき。
- (6) その他市長が使用について不適当と認めたとき。

第6 ロゴマーク・キャッチフレーズ、信長公のイラストを使用する場合、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 許可を受けた目的及び方法のみに使用すること。

- (2) 市が定めた色、形等の規格に沿って正しく使用すること。

- (3) ロゴマーク・キャッチフレーズ、信長公のイラストを使用した物件が完成した場合は、速やかに当該物件を市長に提出すること。ただし、物件の提出が困難なものについては、その写真をもって物件の提出に代えることができるものとする。

- (4) ロゴマーク・キャッチフレーズ、信長公のイラストを使用した商標、意匠等の登録出願を行うことはできないこと。

第7 はっぴを借用する場合、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 貸出期間は、原則として 14 日間以内とする。ただし、特別な事情があると市長が認めた場合はこの限りでない。

- (2) 使用者は、故意又は過失により、はっぴを紛失又は損傷した場合は、それによって生じた損害を市に賠償するものとする。

- (3) 使用者は、はっぴを第三者に転貸または譲渡してはならない。

- (4) 使用者は、使用後にクリーニングを行い、返却期限までに小牧山城 450 年プロジェクト推進室に返却するものとする。

第8 申請の手続き等に関しては、次によるものとする。

- (1) 所定の申請書により申請すること。
- (2) 広報等に掲載する場合は、別表 2 に定める期限までに小牧山城 450 年プロジェクト推進室へ申請すること。
- (3) 認定の可否、広報等への掲載の決定は、織田信長公小牧山城築城 450 年記念事業実行委員会で行う。

付 則

この基準は、平成 24 年 1 月 1 日から施行する。

付 則

この基準は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この基準は、平成 25 年 5 月 28 日から施行する。



発行 愛知県小牧市
〒485-8650
愛知県小牧市堀の内三丁目1番地
電話 0568 (72) 2101
発行日 平成26年3月